

---

羽曳野市  
在宅介護実態調査  
報告書

---

令和2年4月



# 目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 調査票の回収状況	1
(4) 留意点	1
2. 回答者の属性	2
(1) 回答の記入者	2
(2) 世帯類型	3
(3) 現在抱えている傷病	4
3. 親族による介護	5
(1) 介護の頻度	5
(2) 主な介護者の属性	6
(3) 介護の内容	9
(4) 介護離職	11
4. 支援・サービス	16
(1) 介護保険サービス（利用状況、満足度、利用していない理由）	16
(2) 介護保険サービス以外の支援・サービス	18
(3) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス	19
(4) 施設等への入所・入居の検討状況	20
(5) 訪問診療の利用状況	21
5. 認定データを使用した集計	22
(1) 在宅限界点向上のための支援・サービスの提供体制の検討	22
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討	30
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	36
(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	42
(5) 医療ニーズのある在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討	46
(6) 家族介護に対する支援・サービスの提供体制の検討	49

# 1. 調査概要

## (1) 調査目的

「高齢者等の適切な在宅生活の継続」や「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的としています。

## (2) 調査の実施について

以下の調査を実施しました。

調査種類	
対象者	在宅で介護を受けている要介護（要支援）のうち、実施期間中に認定の更新や区分変更を申請した人及びその方を介護する家族等 514 名 ※施設入所者や新規申請者は対象外です。
実施期間	平成 31 年 2 月 1 日（金）～令和 2 年 2 月 7 日（金）
実施方法	認定調査員による聞き取り調査

## (3) 調査票の回収状況

	有効回収数
全体	514 件

## (4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記。このため、百分率の合計が 100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中に MA (Multiple Answer)、3LA (3 Limited Answer) と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
4. クロス集計については、厚労省が推奨する在宅介護実態調査の自動集計分析ソフト（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社作成）を用いて、回答結果と認定データを突合・集計しています。認定データと突合ができない回答及び無回答を除いた集計となっています。

## 2. 回答者の属性

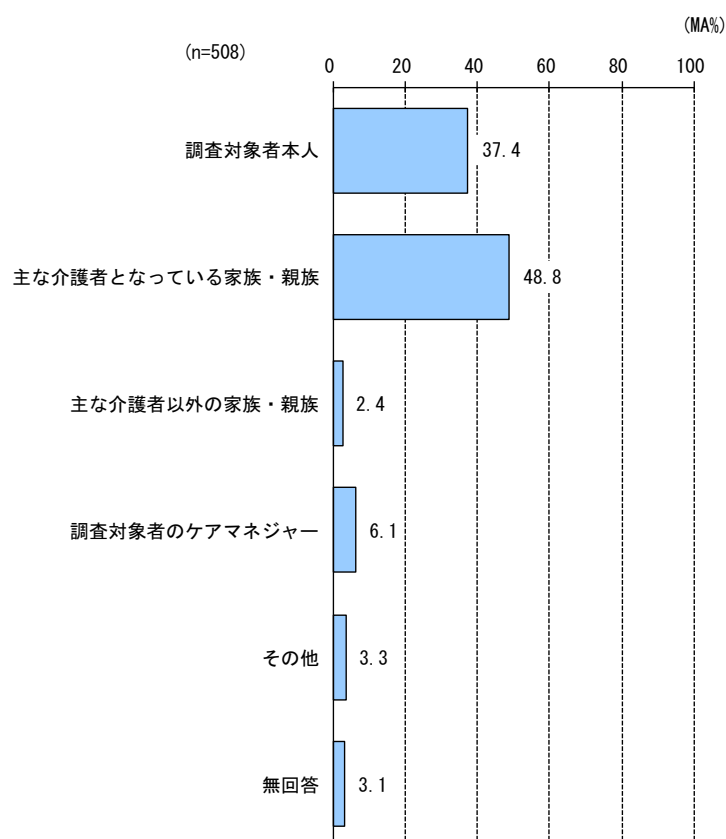
### (1) 回答の記入者

●A票 A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか（複数選択可）

#### 【全体】

○ 回答者について、「主な介護者となっている家族・親族」が48.8%で最も多く、次いで「調査対象者本人」が37.4%、「調査対象者のケアマネジャー」が6.1%となっています。

【回答者(MA)】



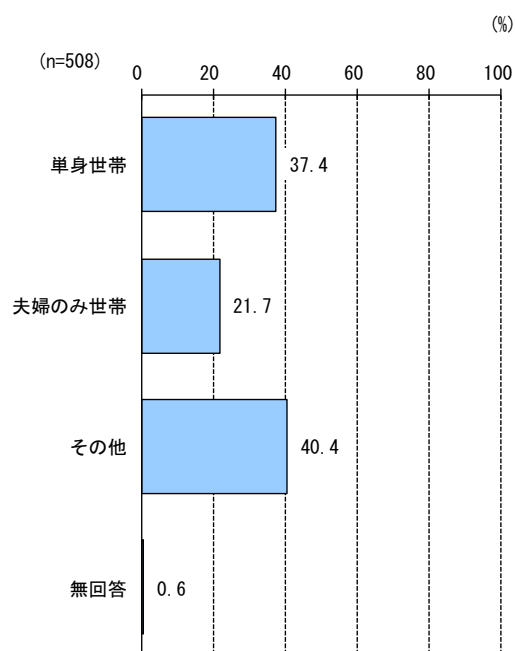
## (2) 世帯類型

●A票 問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

### 【全体】

○ 世帯類型について、「単身世帯」が37.4%、「夫婦のみ世帯」が21.7%となっています。

### 【世帯類型】



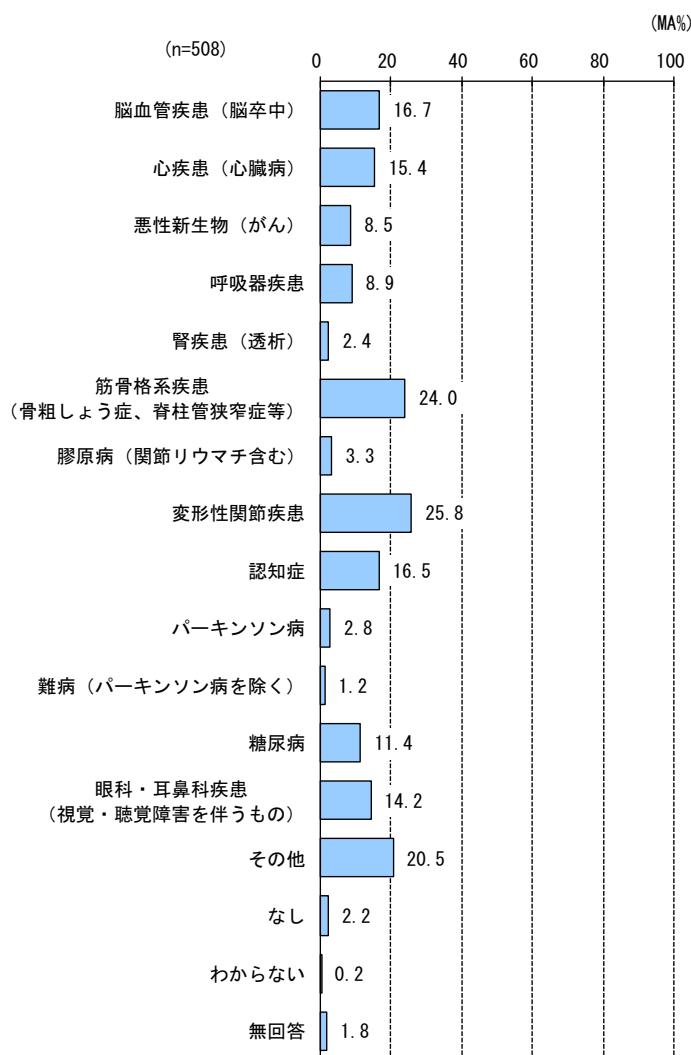
### (3) 現在抱えている傷病

- A票 問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

#### 【全体】

- 現在抱えている傷病について、「変形性関節疾患」が25.8%で最も多く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が24.0%、「脳血管疾患（脳卒中）」が16.7%となっています。

#### 【現在抱えている傷病(MA)】



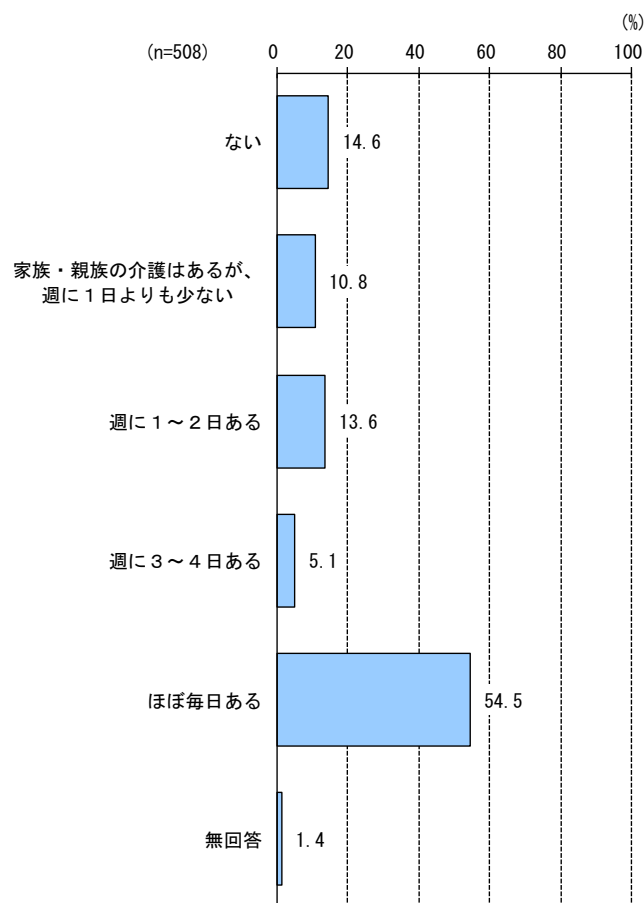
### 3. 親族による介護

#### (1) 介護の頻度

- A票 問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

**【全体】**  
○ 家族や親族からの介護の頻度について、「ほぼ毎日ある」が54.5%で最も多く、次いで「ない」が14.6%、「週に1～2日ある」が13.6%となっています。

#### 【家族や親族からの介護の頻度】





## (2) 主な介護者の属性

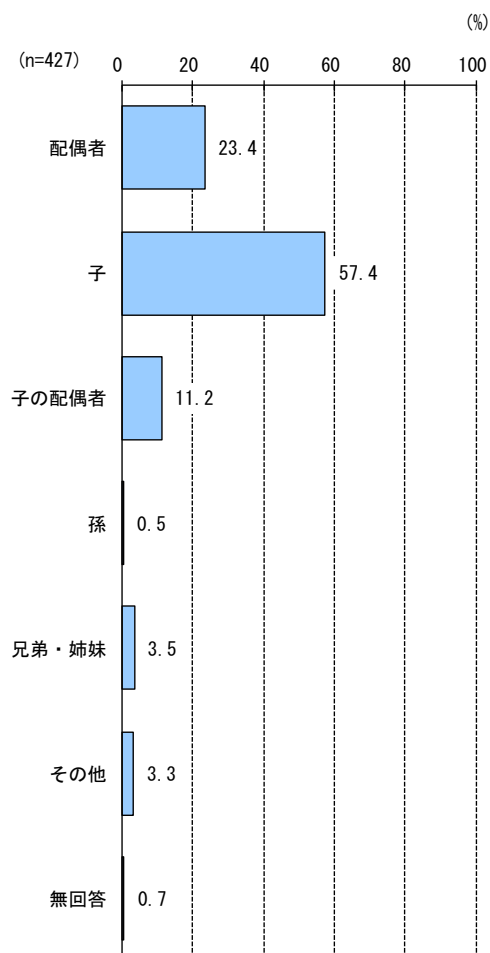
### ① 主な介護者

●A票 問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

#### 【全体】

○ 主な介護者について、「子」が57.4%で最も多く、次いで「配偶者」が23.4%、「子の配偶者」が11.2%となっています。

#### 【主な介護者】



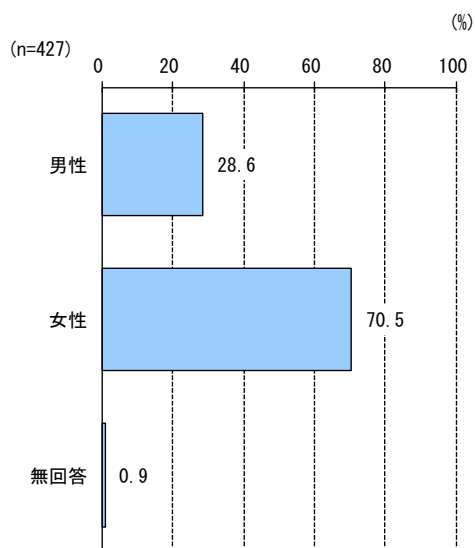
## ② 介護者の性別

●A票 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

### 【全体】

○ 主な介護者の性別について、「男性」が28.6%、「女性」が70.5%となっています。

【主な介護者の性別】



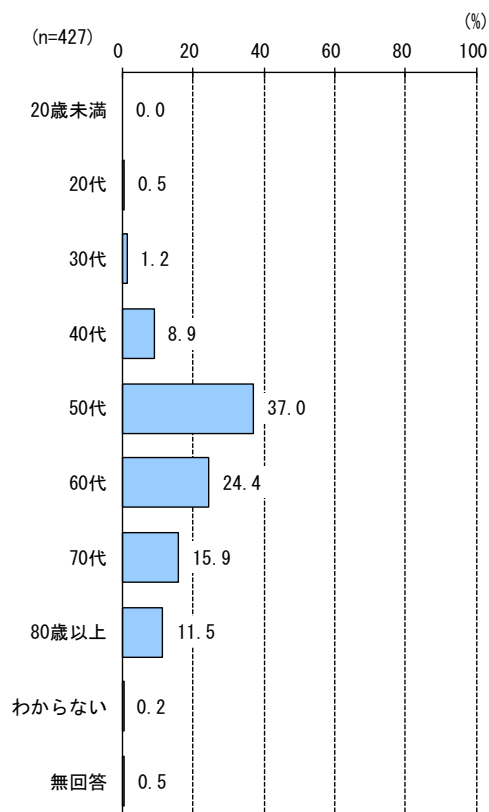
### ③ 介護者の年齢

●A票 問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

#### 【全体】

○ 主な介護者の年齢について、「50代」が37.0%で最も多く、次いで「60代」が24.4%、「70代」が15.9%となっています。

【主な介護者の年齢】



### (3) 介護の内容

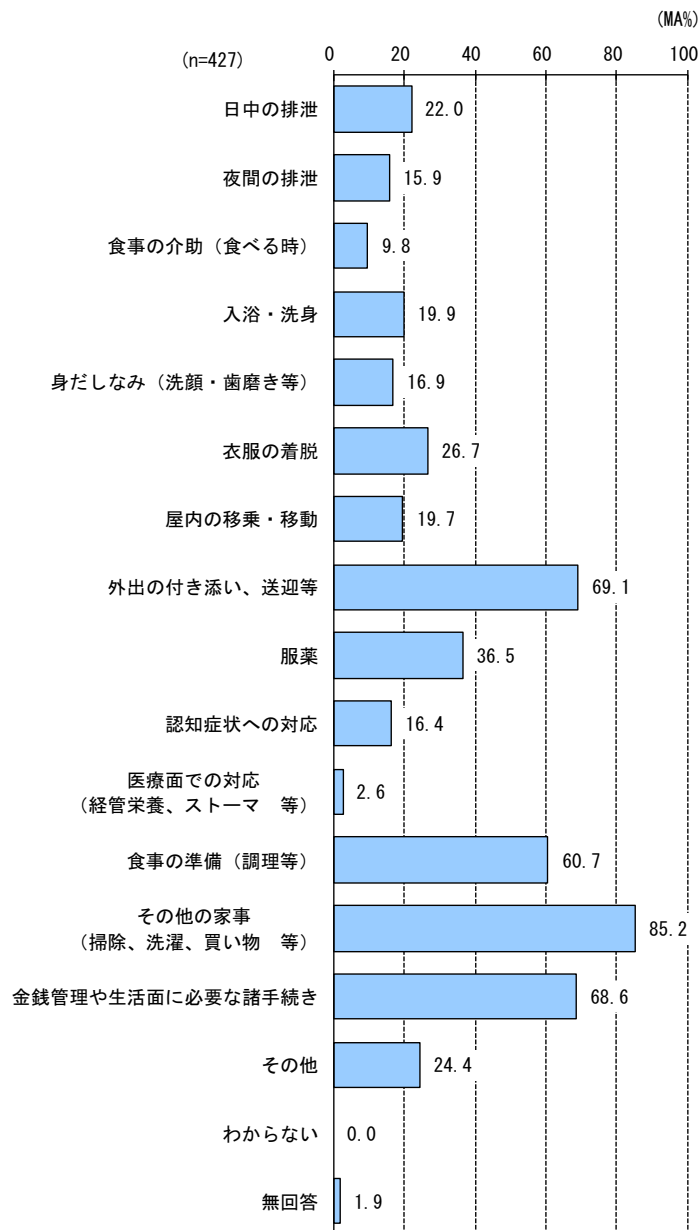
#### ① 現在行っている介護

- A票 問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)

#### 【全体】

- 主な介護者が行っている介護について、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等)」が85.2%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が69.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が68.6%となっています。

#### 【主な介護者が行っている介護(MA)】



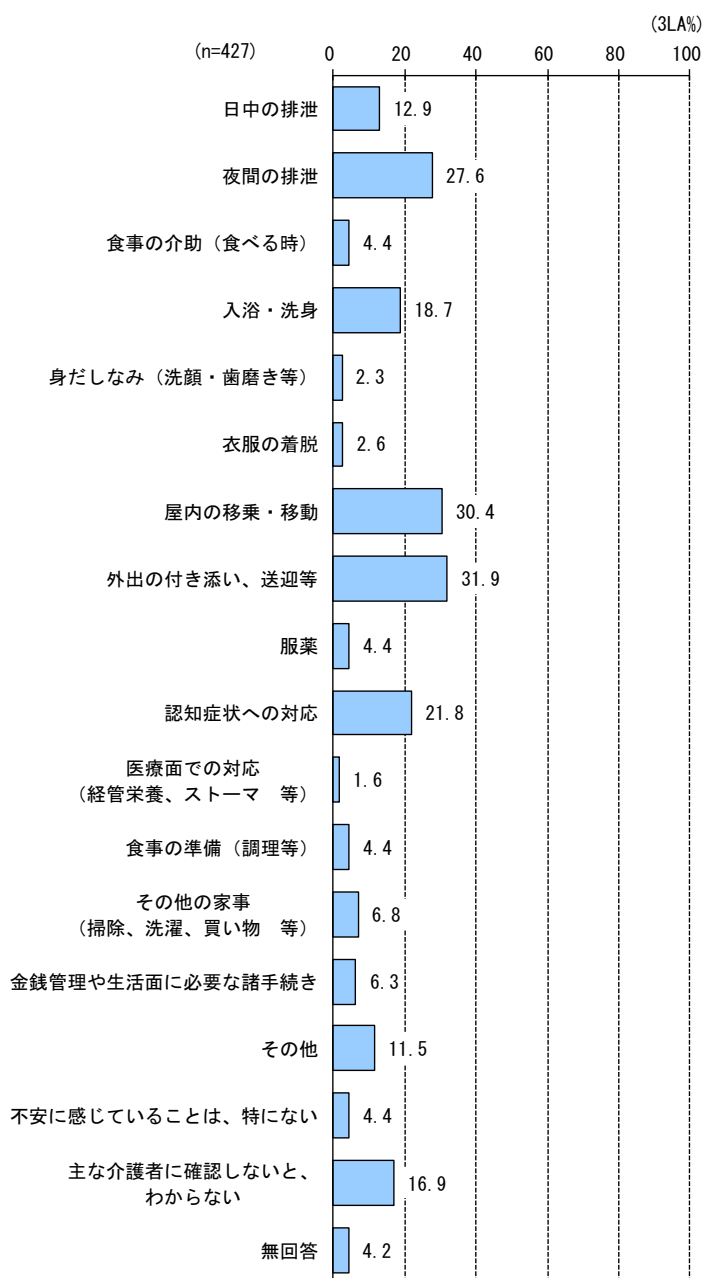
## ② 不安に感じる介護

- B 票 問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(3つまで選択可)

### 【全体】

- 現在の生活を継続していくにあたって、不安に感じる介護について、「外出の付き添い、送迎等」が31.9%で最も多く、次いで「屋内の移乗・移動」が30.4%、「夜間の排泄」が27.6%となっています。

### 【現在の生活を継続していくにあたって、不安に感じる介護(3LA)】



#### (4) 介護離職

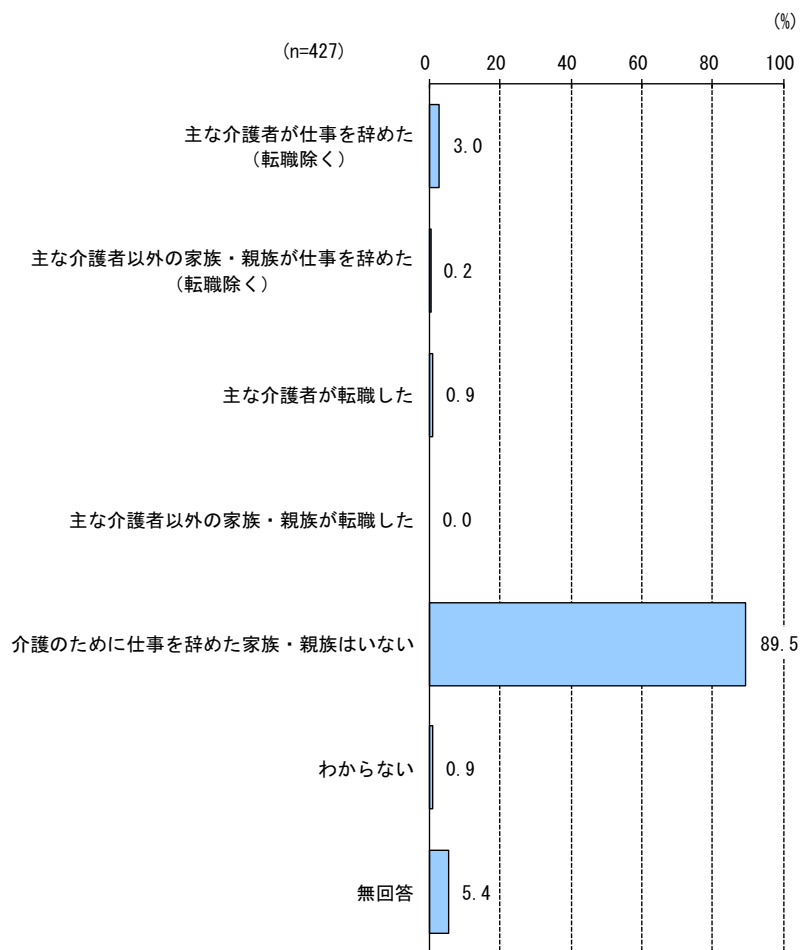
##### ① 介護離職者の有無

- A票 問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（複数選択可）

##### 【全体】

- 介護離職について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が89.5%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が3.0%、「主な介護者が転職した」「わからない」が0.9%となっています。

##### 【介護離職(MA)】



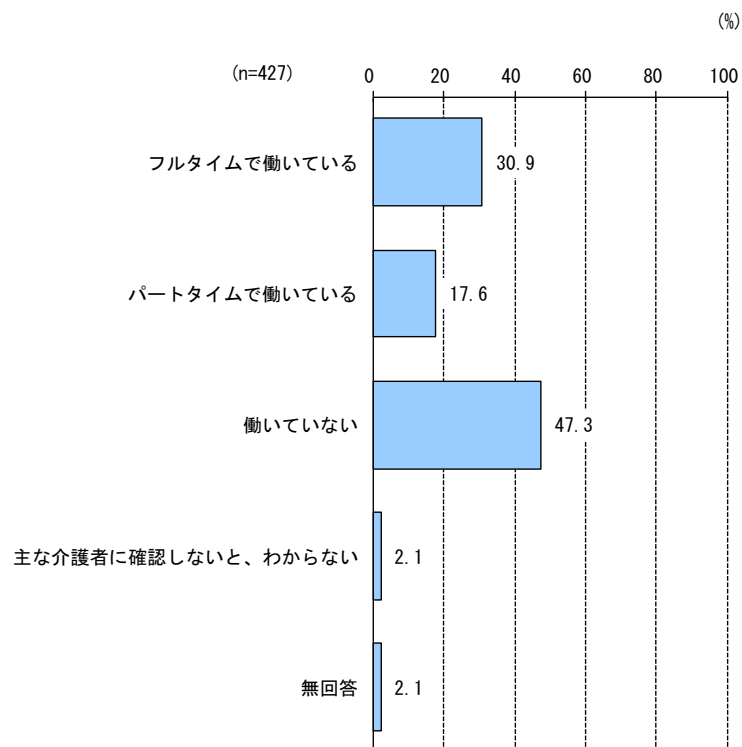
## ② 主な介護者の勤務形態

●B票 問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

### 【全体】

○ 主な介護者の勤務形態について、「働いていない」が47.3%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が30.9%、「パートタイムで働いている」が17.6%となっています。

【主な介護者の勤務形態】



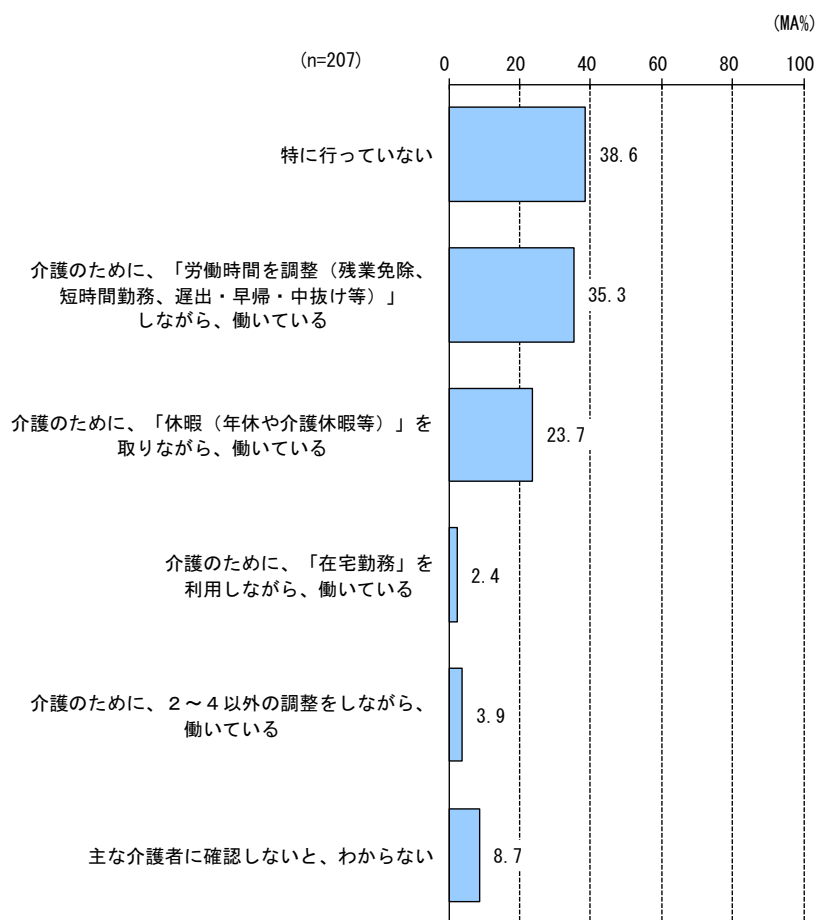
### ③ 働き方の調整

- B票 問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(複数選択可)

#### 【全体】

- 働き方の調整について、「特に行っていない」が38.6%で最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が35.3%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が23.7%となっています。

#### 【働き方の調整 (MA)】





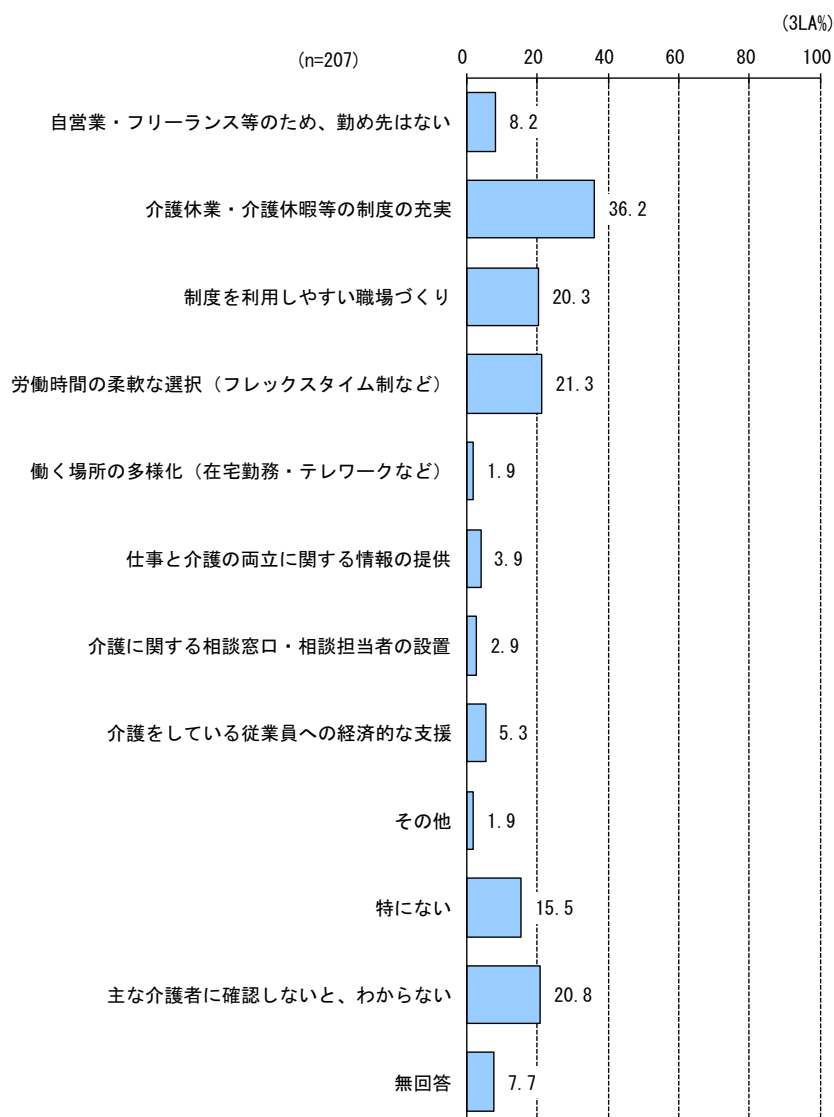
#### ④ 勤め先からの必要な支援

- B 票 問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)

##### 【全体】

- 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援について、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が36.2%で最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が21.3%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が20.8%となっています。

##### 【仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援(3LA)】



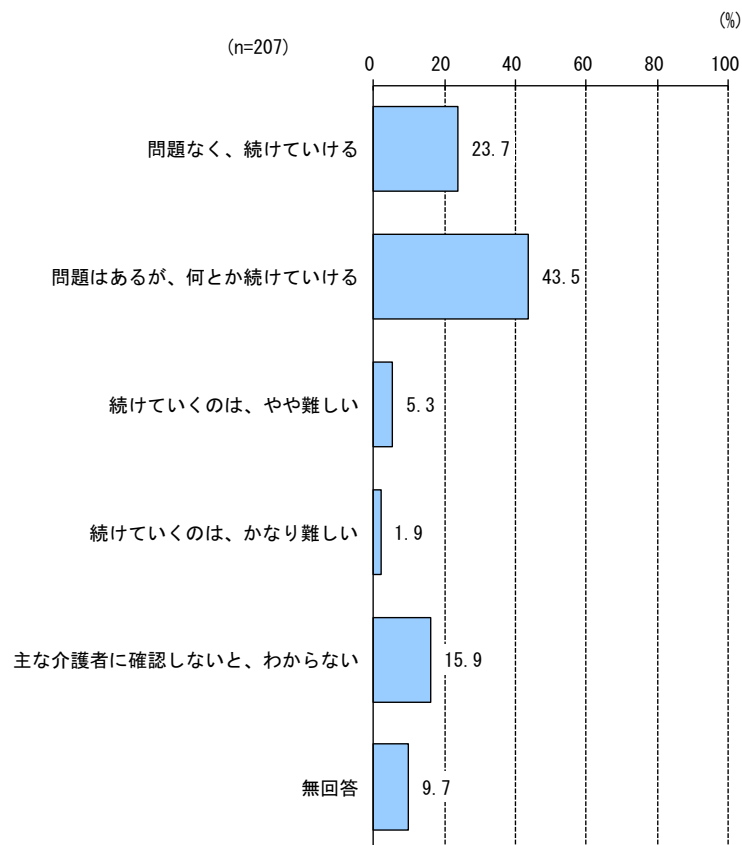
## ⑤ 今後の介護と仕事の両立

- B票 問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

### 【全体】

- 今後の仕事と介護の両立について、「問題はあるが、何とか続けていける」が43.5%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が23.7%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が15.9%となっています。

### 【今後の仕事と介護の両立】



## 4. 支援・サービス

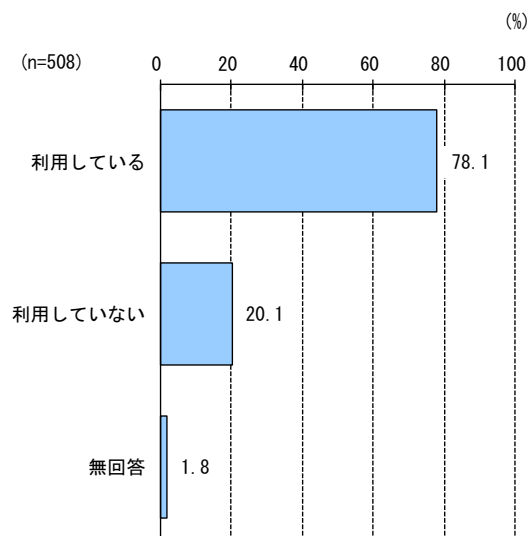
### (1) 介護保険サービス（利用状況、満足度、利用していない理由）

- A票 問13 ご本人（認定調査対象者）は、現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（1つを選択）

#### 【全体】

- （住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が78.1%、「利用していない」が20.1%となっています。

#### 【（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスの利用状況】

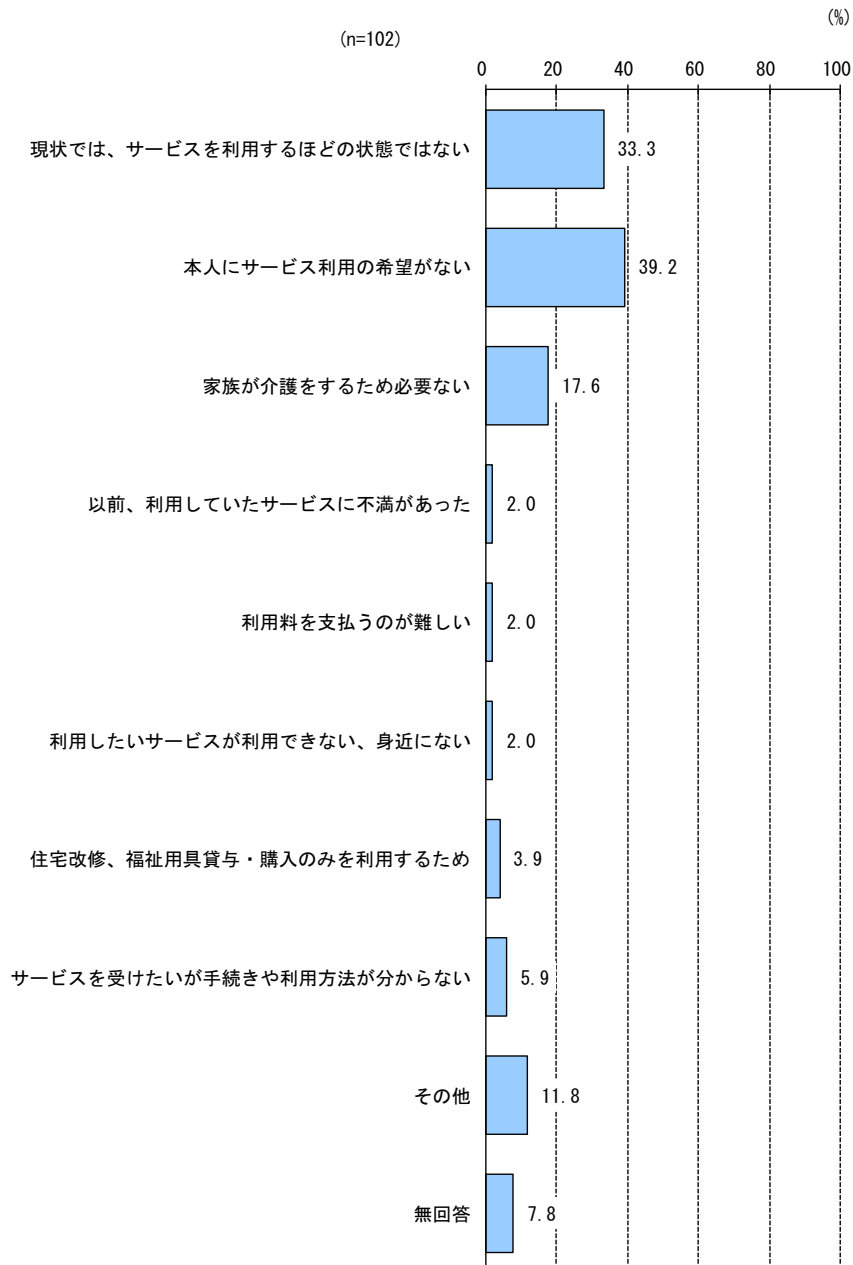


●A 票 問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

【全体】

○ 介護保険サービスを利用していない理由について、「本人にサービス利用の希望がない」が 39.2%で最も多く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 33.3%、「家族が介護をするため必要ない」が 17.6%となっています。

【介護保険サービスを利用していない理由(MA)】



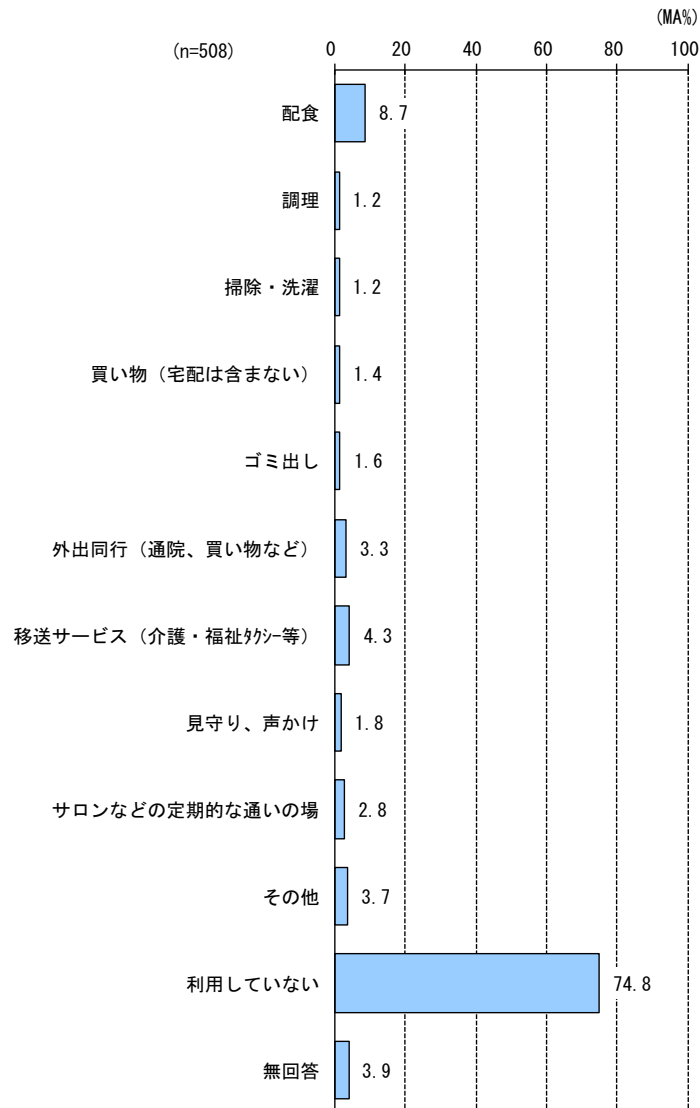
## (2) 介護保険サービス以外の支援・サービス

- A票 問8 現在、ご本人（認定調査対象者）が利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）

### 【全体】

- 現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービスについて、「利用していない」が74.8%で最も多く、次いで「配食」が8.7%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が4.3%となっています。

### 【利用している介護保険サービス以外の支援・サービス (MA)】



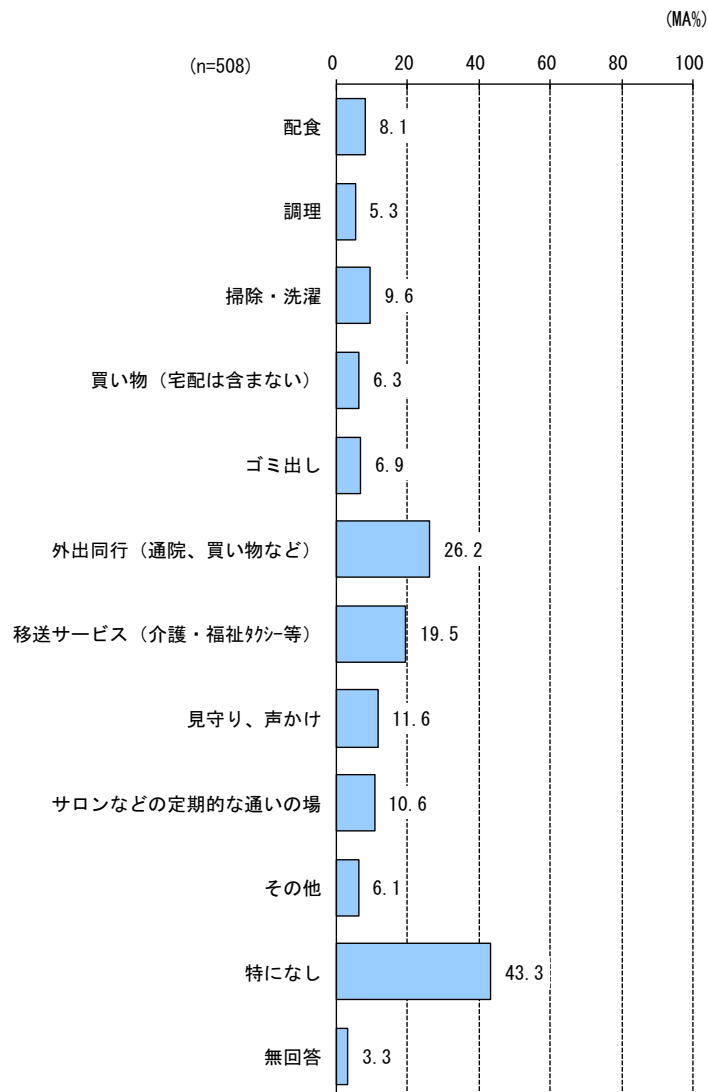
### (3) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

- A票 問9 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)

#### 【全体】

- 在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、「特になし」が43.3%で最も多く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が26.2%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が19.5%となっています。

#### 【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)】



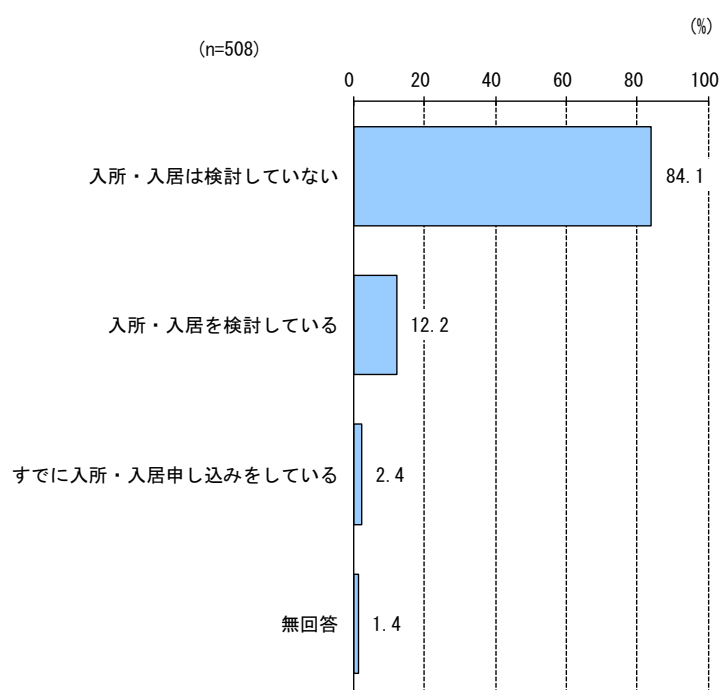
#### (4) 施設等への入所・入居の検討状況

- A 票 問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。  
(1つを選択)

##### 【全体】

- 施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が84.1%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が12.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が2.4%となっています。

##### 【施設等への入所・入居の検討状況】



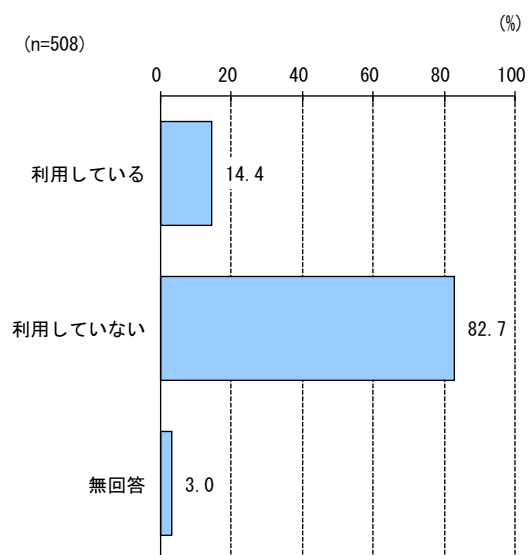
(5) 訪問診療の利用状況

- A 票 問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）

**【全体】**

- 訪問診療の利用の有無について、「利用している」が 14.4%、「利用していない」が 82.7% となっています。

**【訪問診療の利用の有無】**





## 5. 認定データを使用した集計

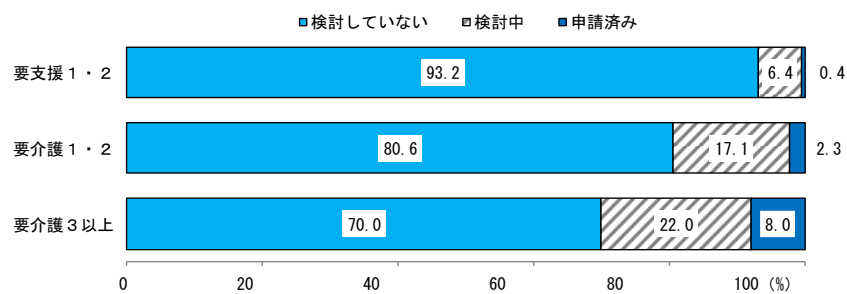
### (1) 在宅限界点向上のための支援・サービスの提供体制の検討

#### ① 施設等への入所・入居の検討状況

##### ● 要介護度

###### 【要介護3以上】

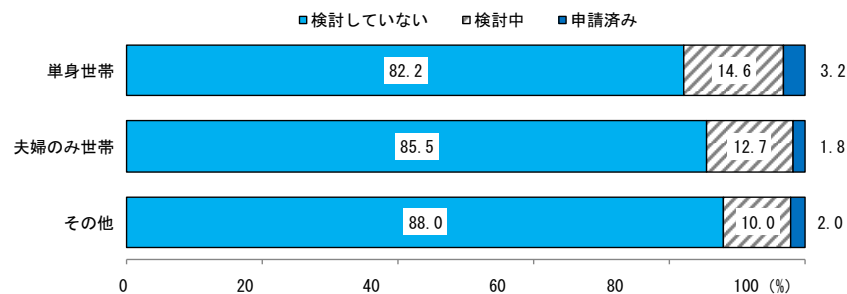
「検討していない」が70.0.%となっています。



##### ● 世帯類型

###### 【単身世帯】

「検討していない」が82.2%となっています。



## ② 介護者が不安に感じる介護

### ●要介護度

#### 【要支援1・2】

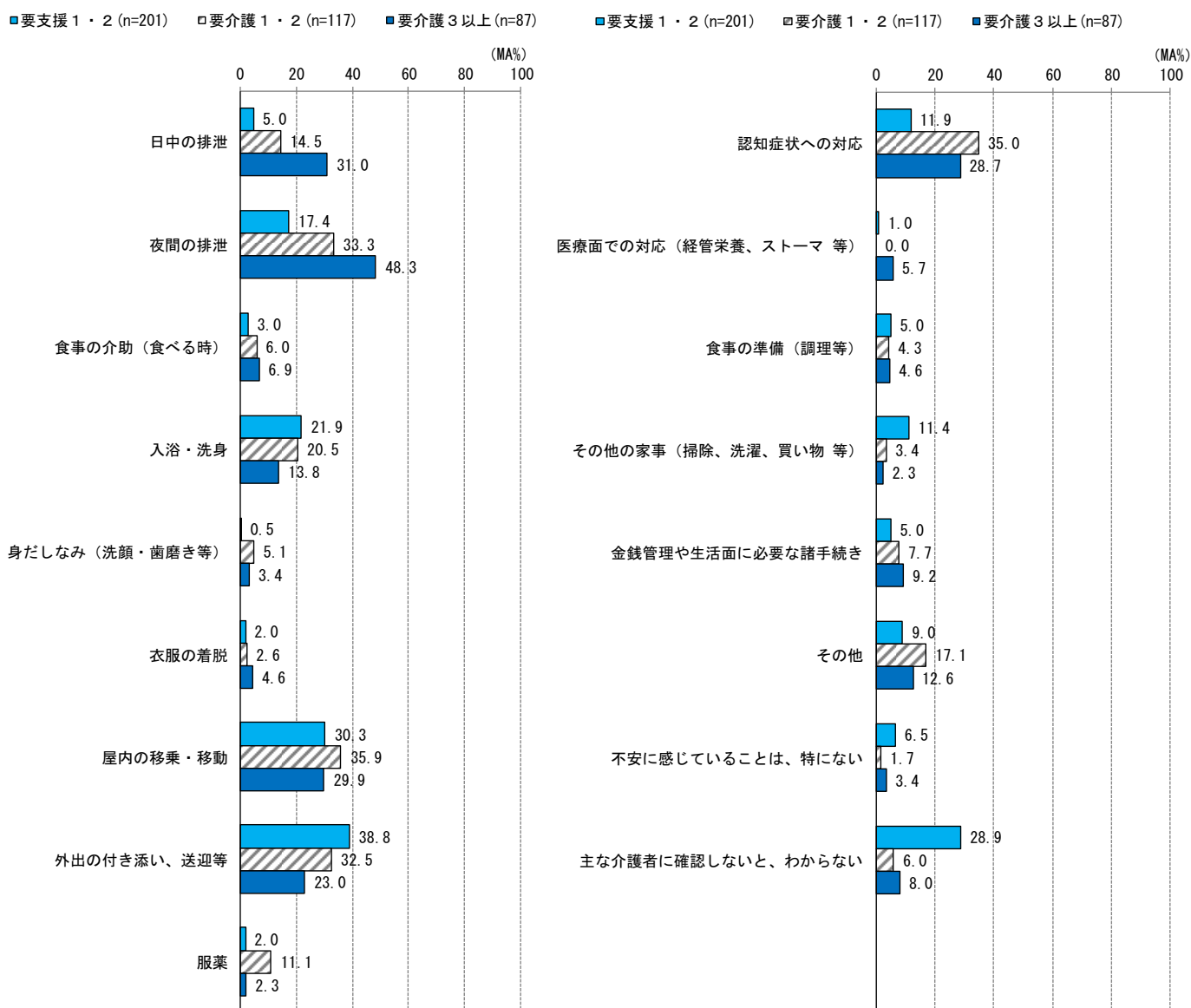
「外出の付き添い、送迎等」、「屋内の移乗・移動」、「入浴・洗身」が多くなっています。

#### 【要介護1・2】

「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」、「外出の付き添い、送迎等」が多くなっています。

#### 【要介護3以上】

「夜間の排泄」、「日中の排泄」、「屋内の移乗・移動」が多くなっています。

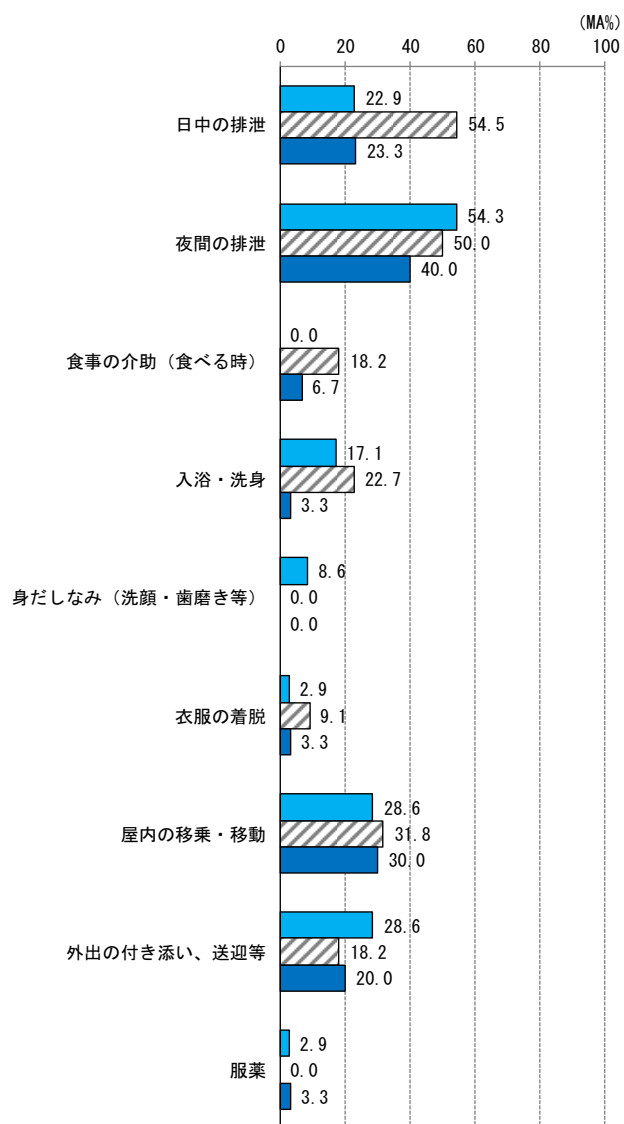


●訪問系サービスの利用状況（要介護3以上）

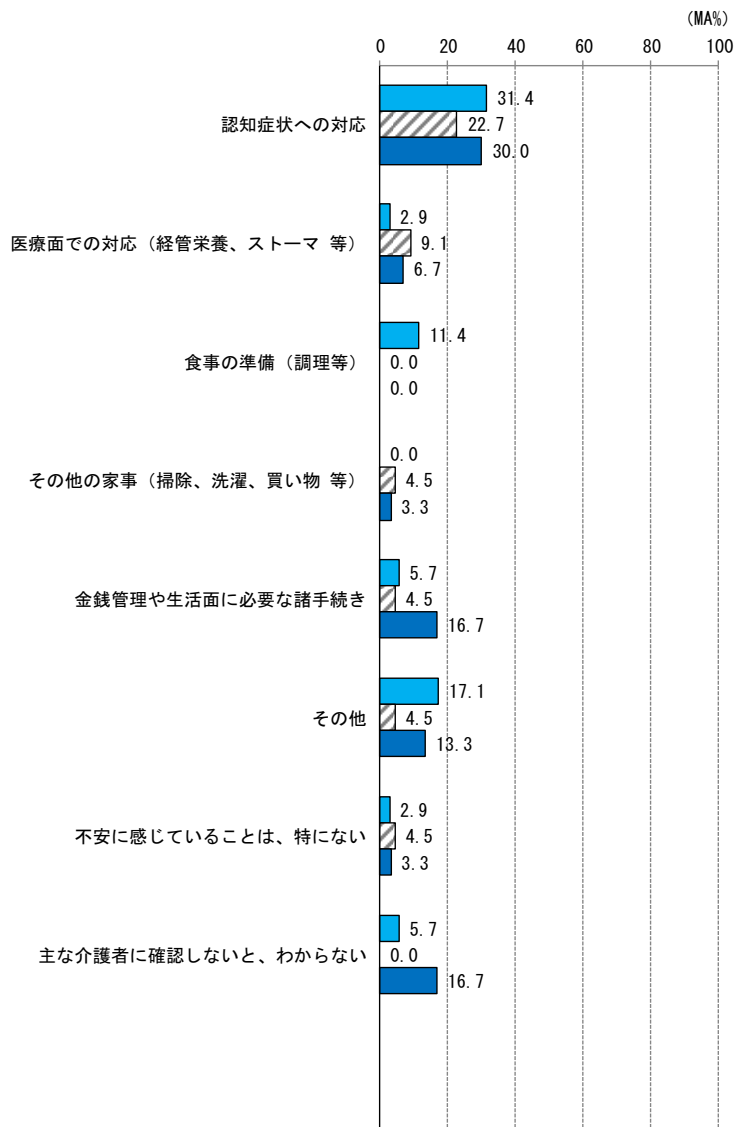
【全体】

訪問系サービスの利用回数が多くなるにつれて、「夜間の排泄」を不安に感じる介護者が少なくなる傾向がみられます。

■訪問系\_0回 (n=35) □訪問系\_1~14回 (n=22) ■訪問系\_15回以上 (n=30)



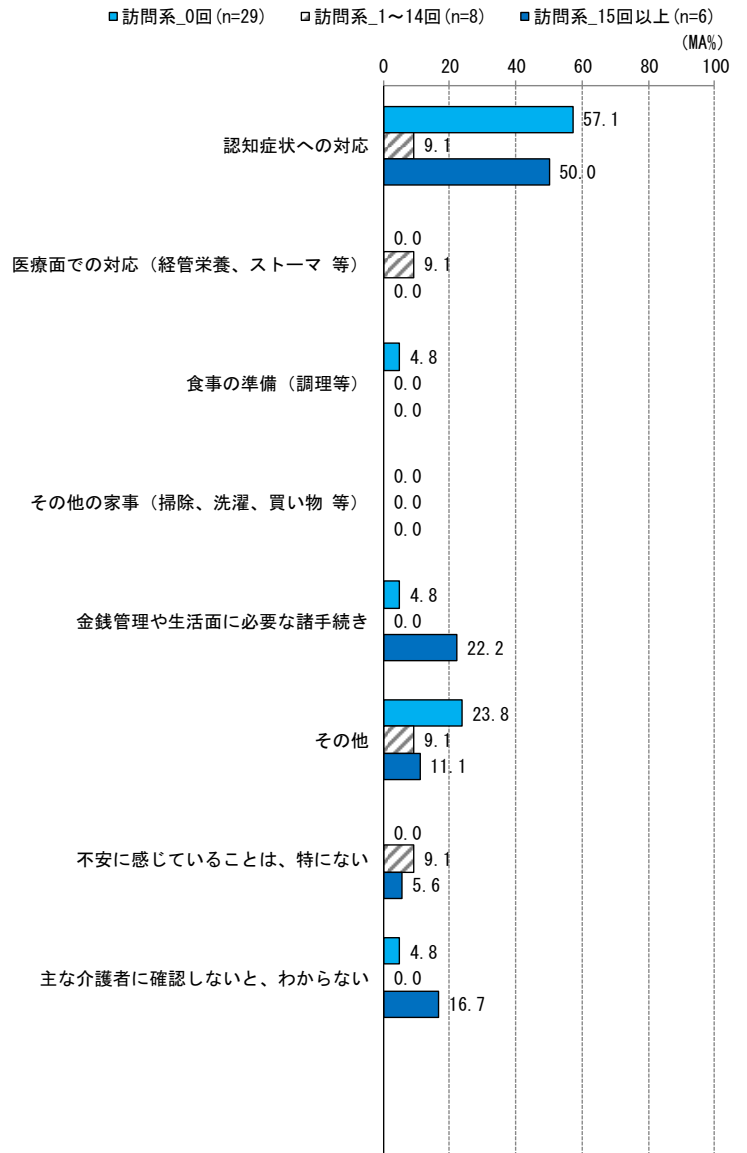
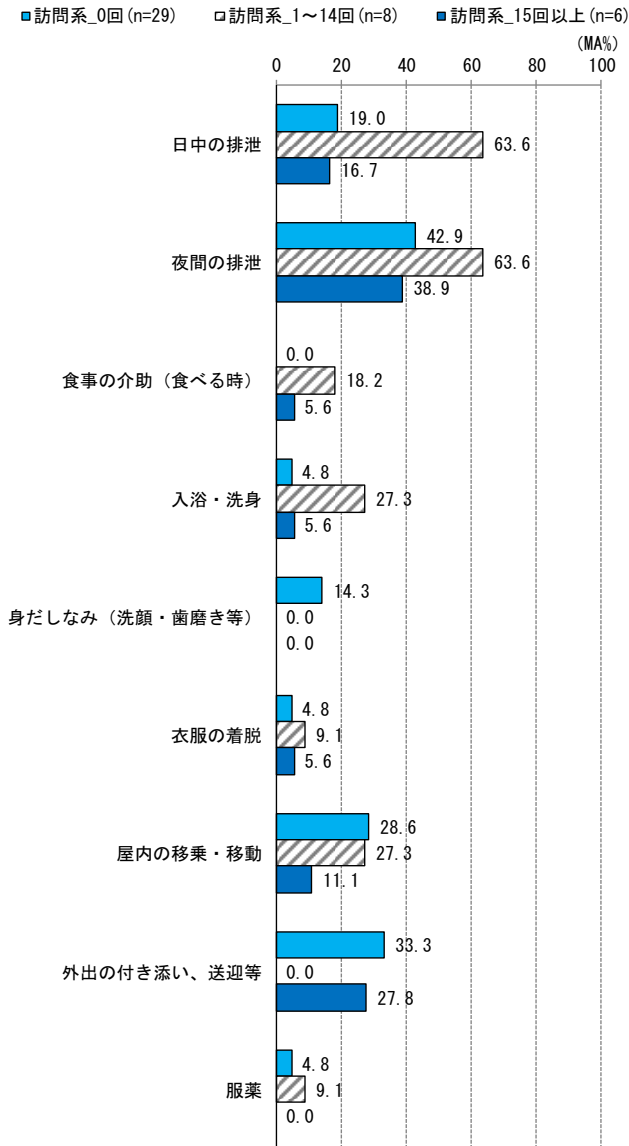
■訪問系\_0回 (n=35) □訪問系\_1~14回 (n=22) ■訪問系\_15回以上 (n=30)



●訪問系サービスの利用状況（認知症自立度Ⅲ以上）

【全体】

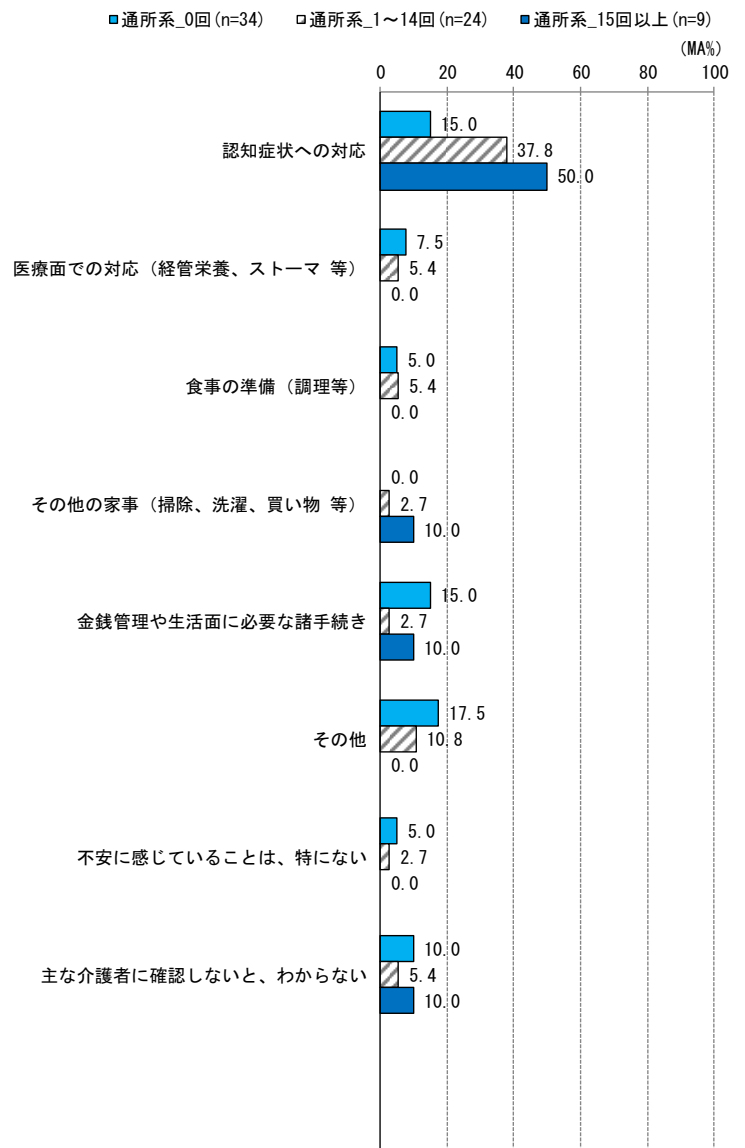
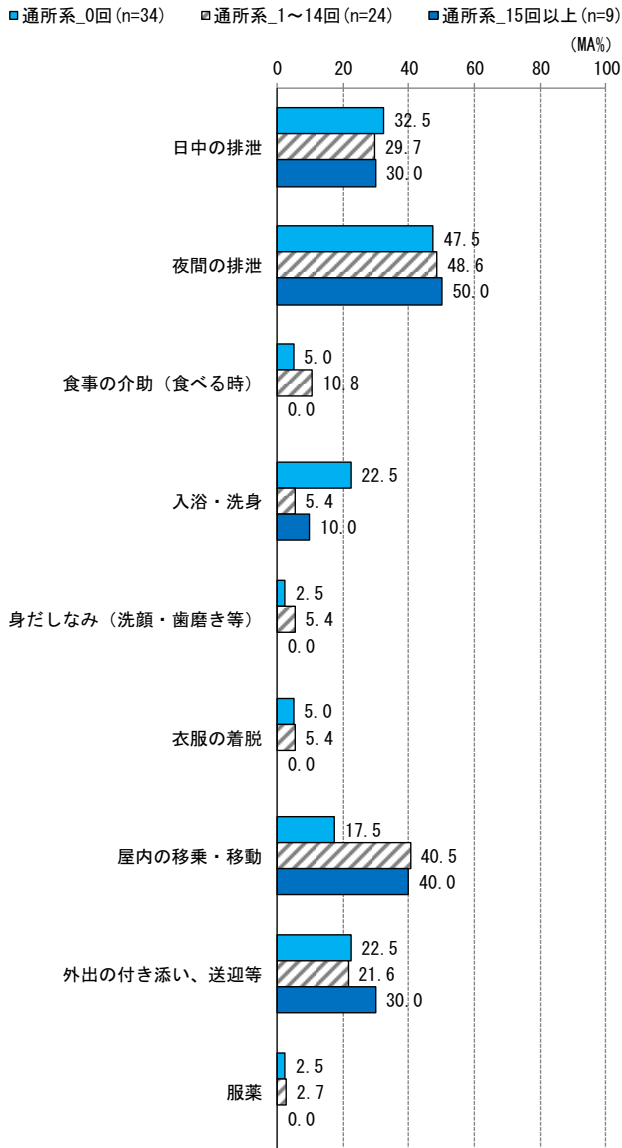
訪問系サービスの利用回数が多くなるにつれて、または、訪問系サービスを利用している人では、「屋内の移乗・移動」を不安に感じる介護者が少なくなる傾向がみられます。



●通所系サービスの利用状況（要介護3以上）

【全体】

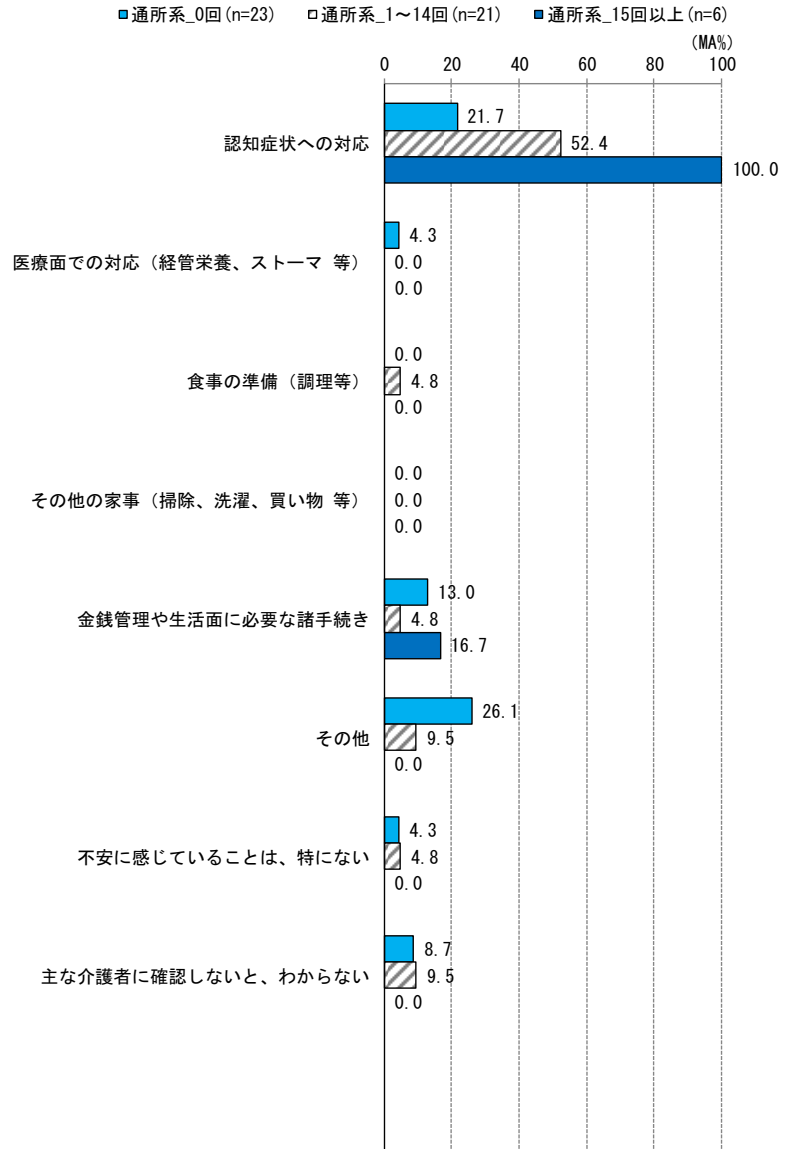
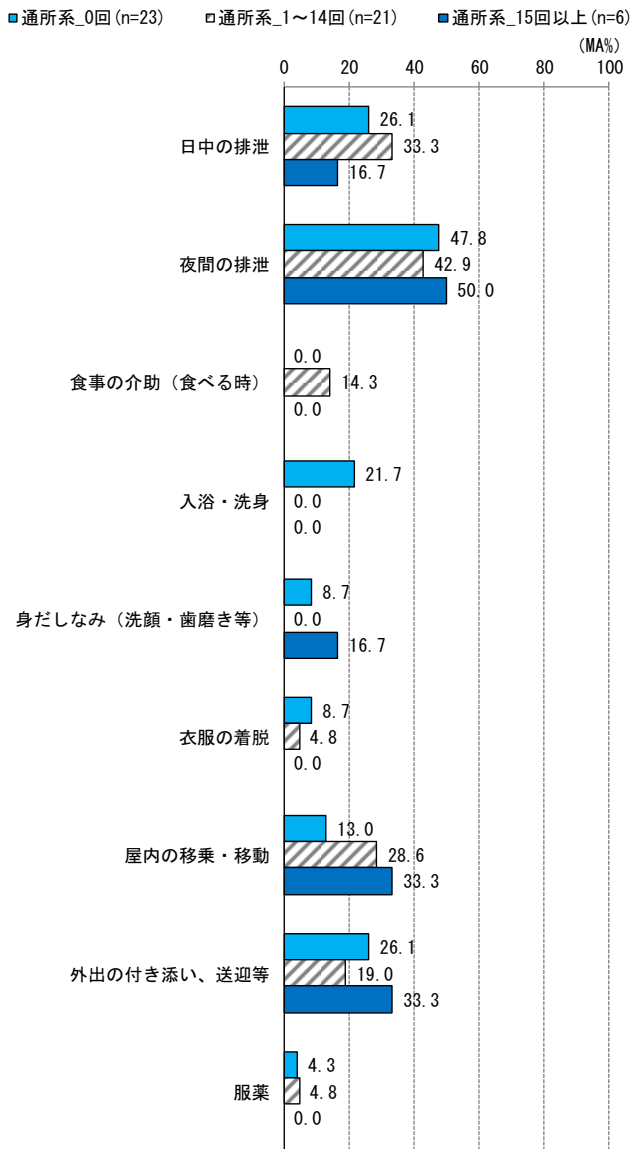
通所系サービスの利用回数が多くなるにつれて、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」は、不安を感じる介護者が多くなる傾向がみられます。



●通所系サービスの利用状況（認知症自立度Ⅲ以上）

【全体】

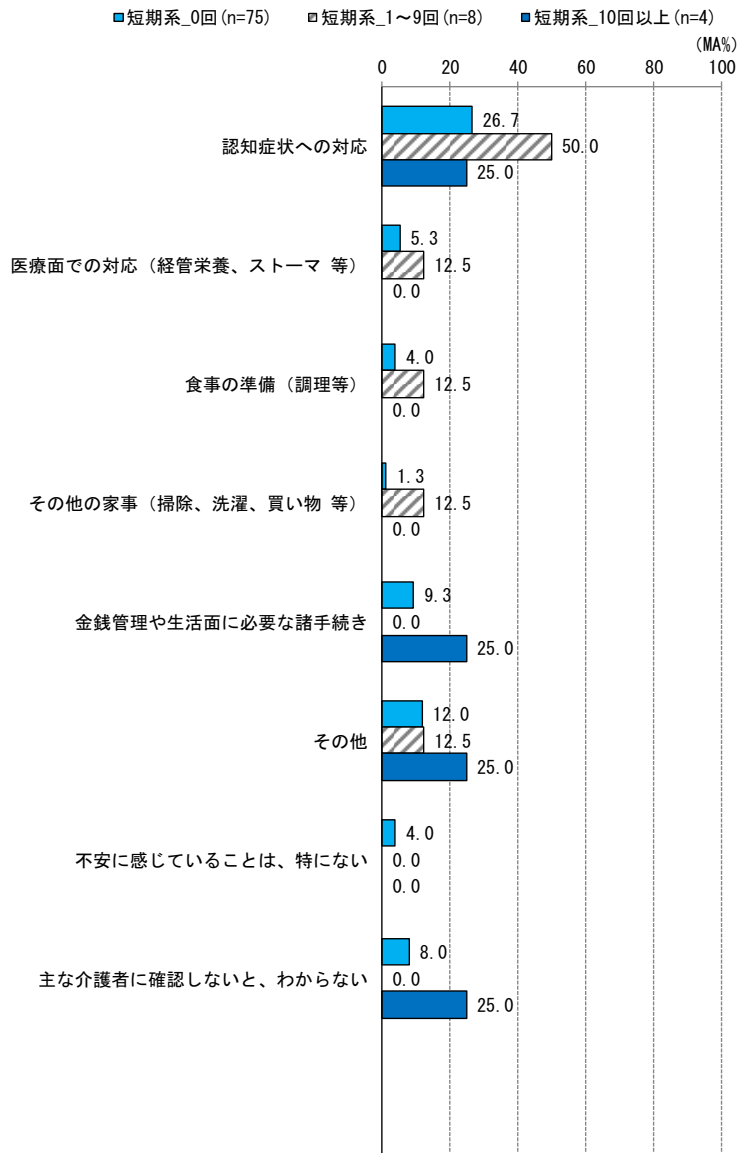
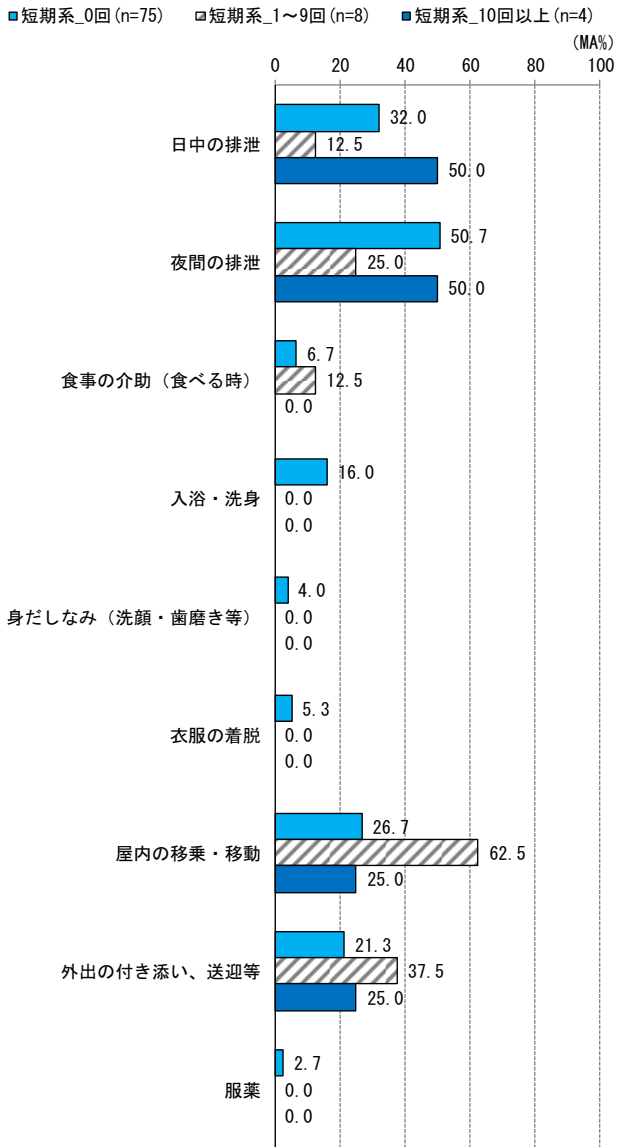
通所系サービスの利用回数が多くなるにつれて、「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」は、不安を感じる介護者が多くなる傾向がみられます。



●短期系サービスの利用状況（要介護3以上）

【全体】

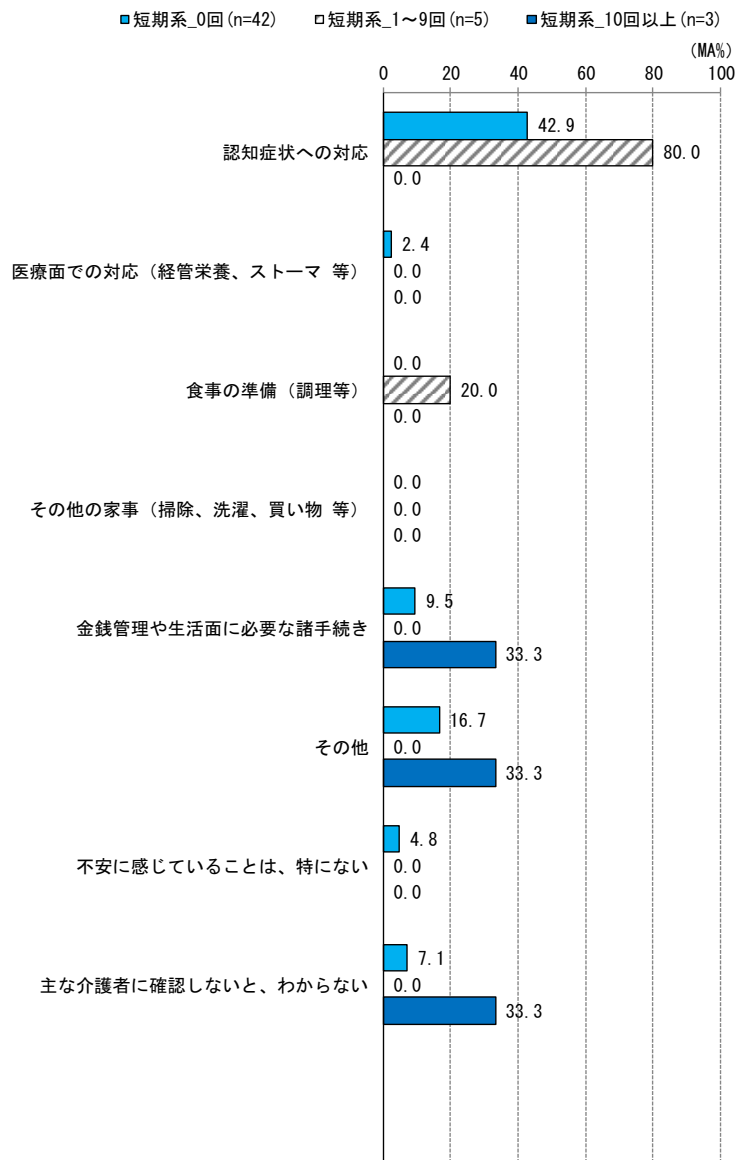
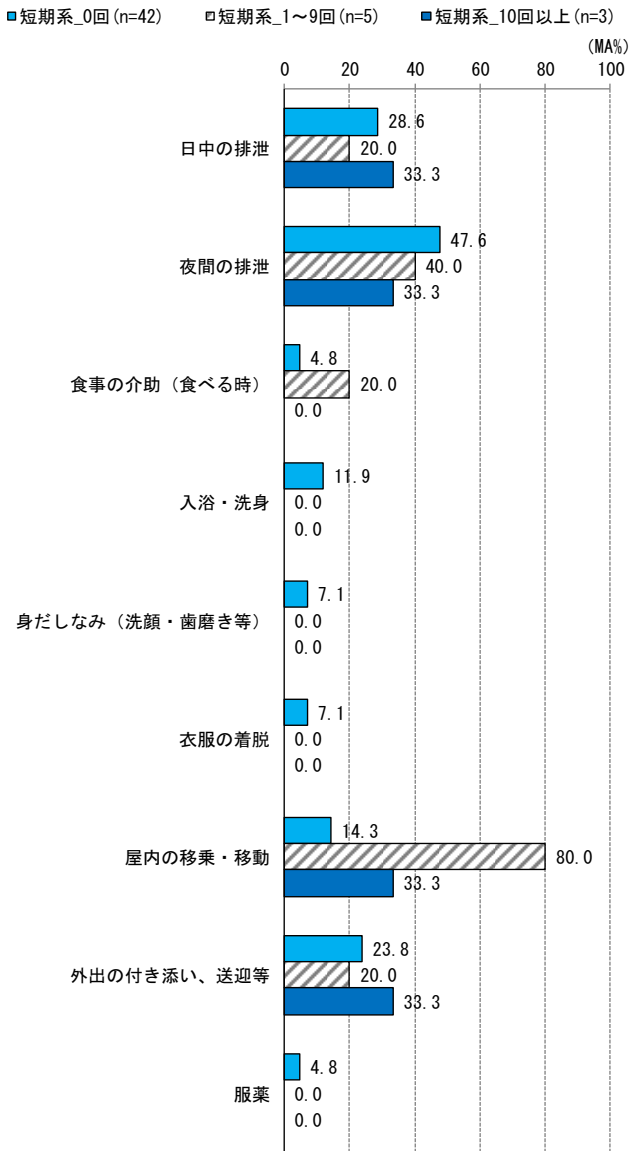
短期系サービスを利用する回数が1～9回の場合、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」について不安を感じる介護者が多くなる傾向がみられます。



●短期系サービスの利用状況（認知症自立度Ⅲ以上）

【全体】

短期系サービスの利用回数が多くなるにつれて、または、短期系サービスを利用している人では、「夜間の排泄」を不安に感じる介護者が少なくなる傾向がみられます。





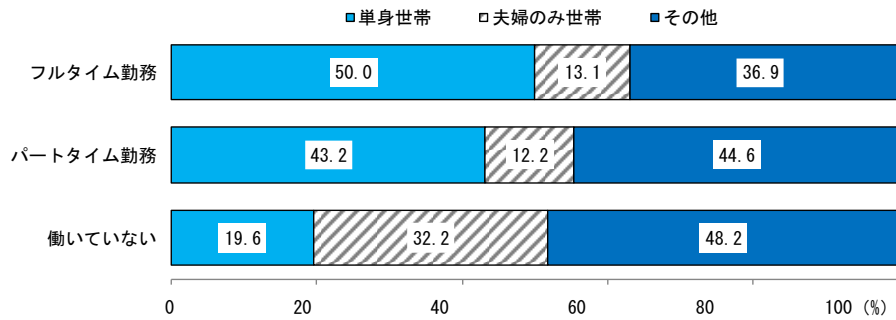
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

① 介護者の就労状況

●世帯類型

【フルタイム勤務】

「単身世帯」が50.0%となっています。



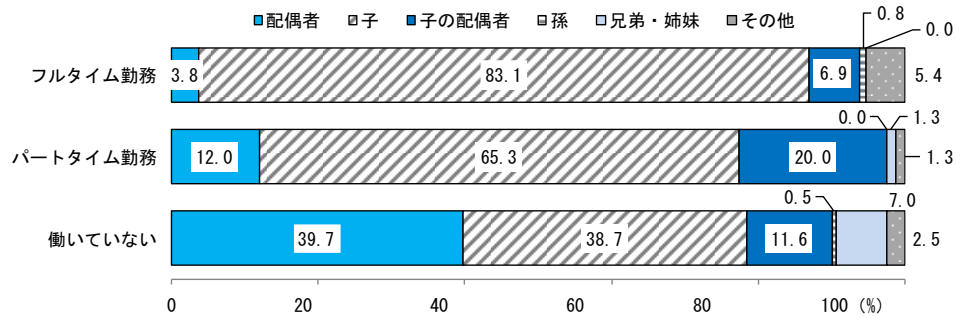
●主な介護者

【フルタイム勤務・パートタイム勤務】

「子」が約8割と多くなっています。

【働いていない】

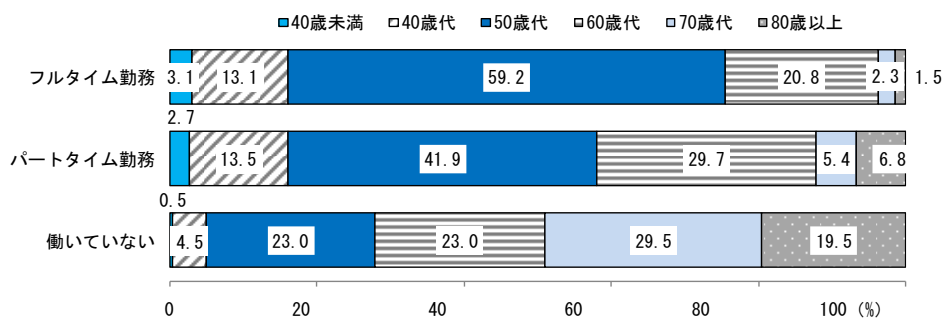
「配偶者」、「子」が約4割と多くなっています。



●主な介護者の年齢

【全体】

就労時間が短くなるにつれて、主な介護者の年齢が高くなる傾向がみられます。



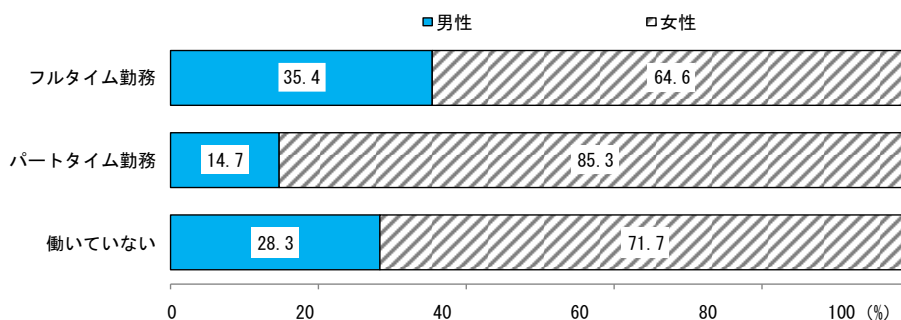
●主な介護者の性別

【全体】

いずれの就労状況でも、「女性」が多くなっています。

【パートタイム勤務】

「女性」が85.3%と多くなっています。



●本人の要介護度

【全体】

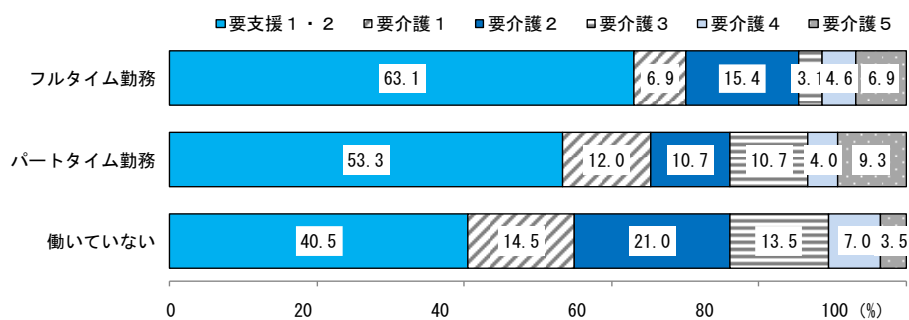
就労時間が長くなるにつれて、重度な要介護者が少なくなる傾向がみられます。

【フルタイム勤務】

“要介護3以上”が14.6%となっています。

【パートタイム勤務】

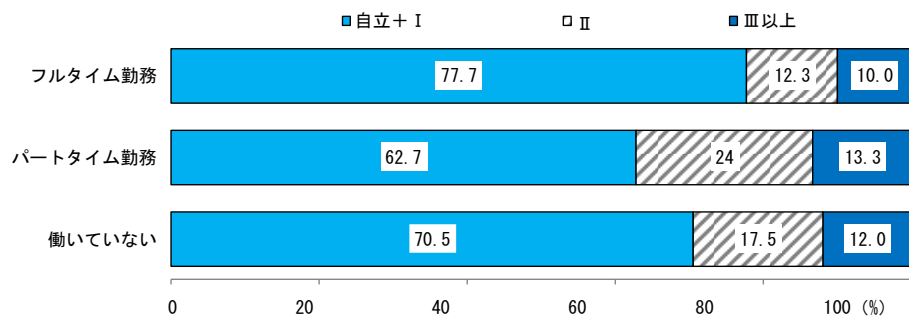
“要介護3以上”が24.0%となっています。



●本人の認知症自立度

【全体】

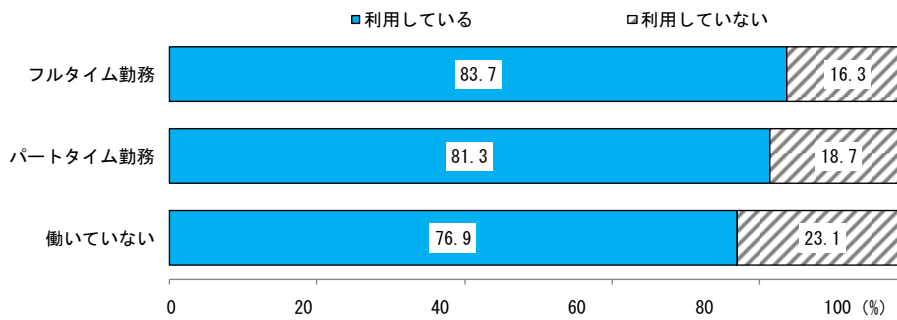
就労時間が長くなるにつれて、重度な要介護者が少なくなる傾向がみられます。



●介護保険サービスの利用有無

**【全体】**

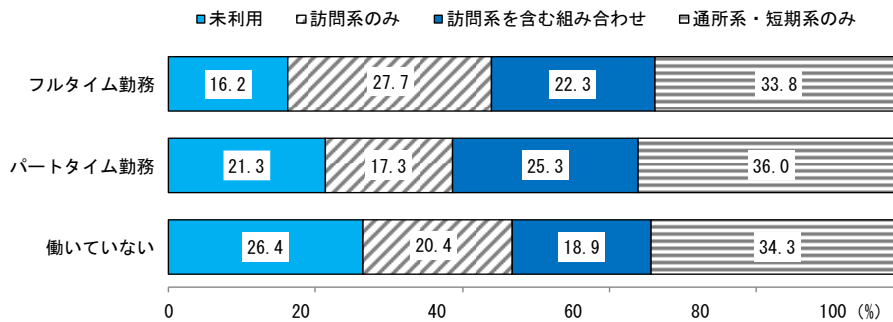
就労時間が長くなるにつれて、「利用していない」が少なくなる傾向がみられます。



●サービス利用の組み合わせ

**【フルタイム勤務】**

通所系・短期系のみ利用が約3割と多くなっています。



## ② 介護者の就労継続見込み

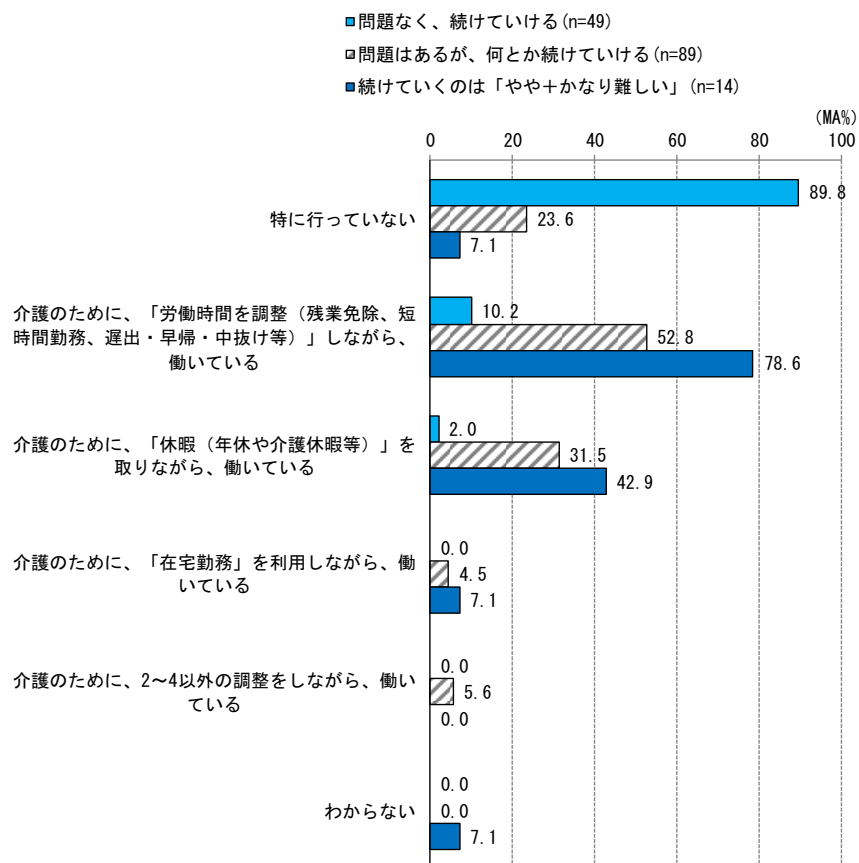
### ●介護のための働き方の調整

#### 【全体】

就労継続が困難になるにつれて、「特に行っていない」が少なくなる傾向がみられます。

#### 【続けていくのは、「やや+かなり難しい」】

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が多くなっています。



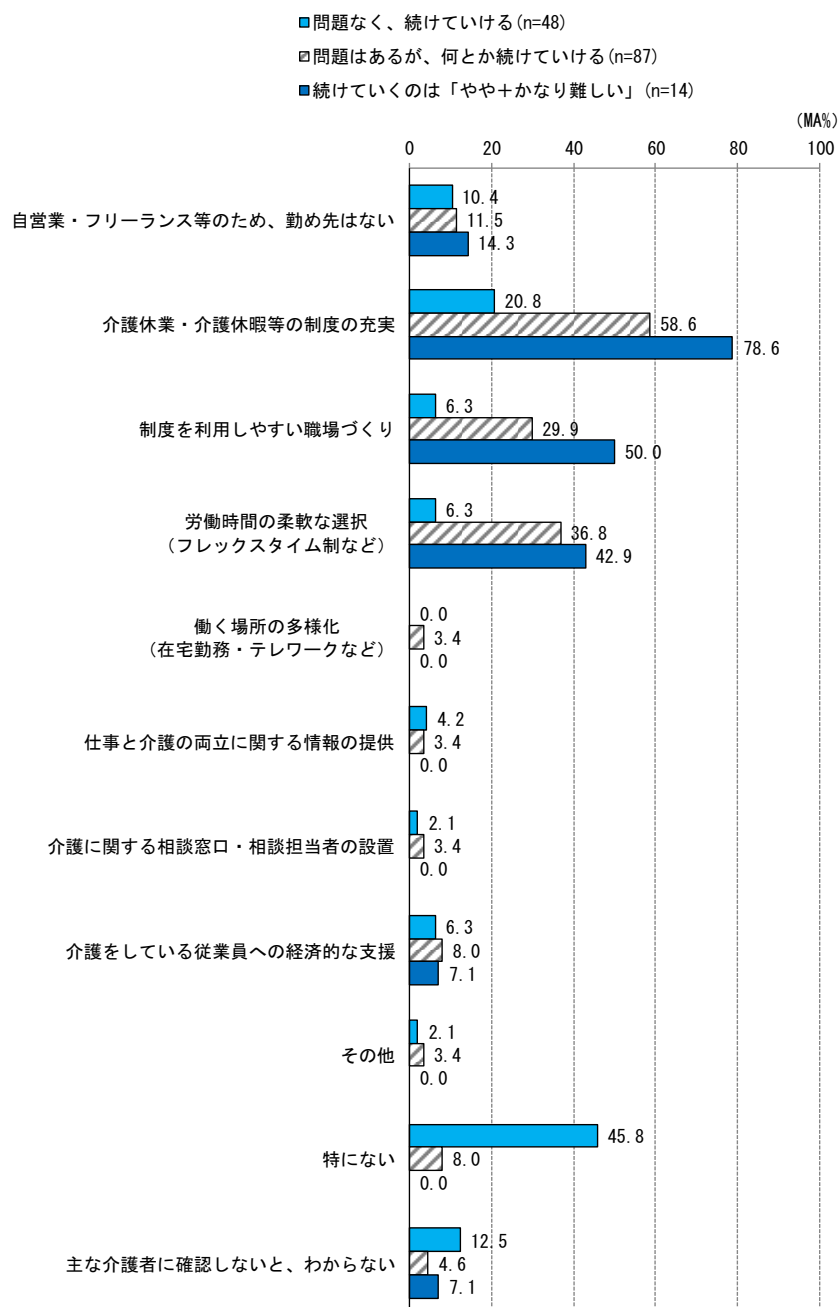
●勤め先から必要な支援

【全体】

就労継続が困難になるにつれて、「特にない」が少なくなる傾向がみられます。

【続けていくのは、「やや+かなり難しい」】

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が多くなっています。



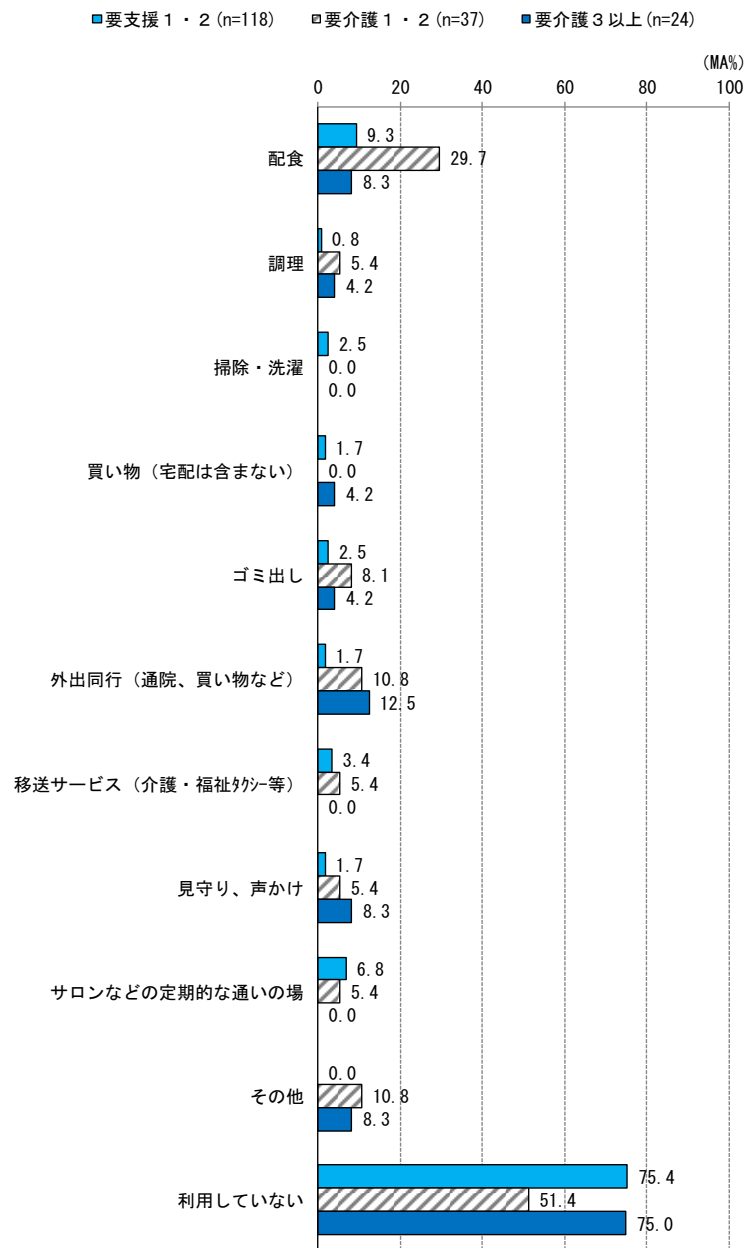
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

① 保険外の支援・サービスの利用状況

● 単身世帯

【全体】

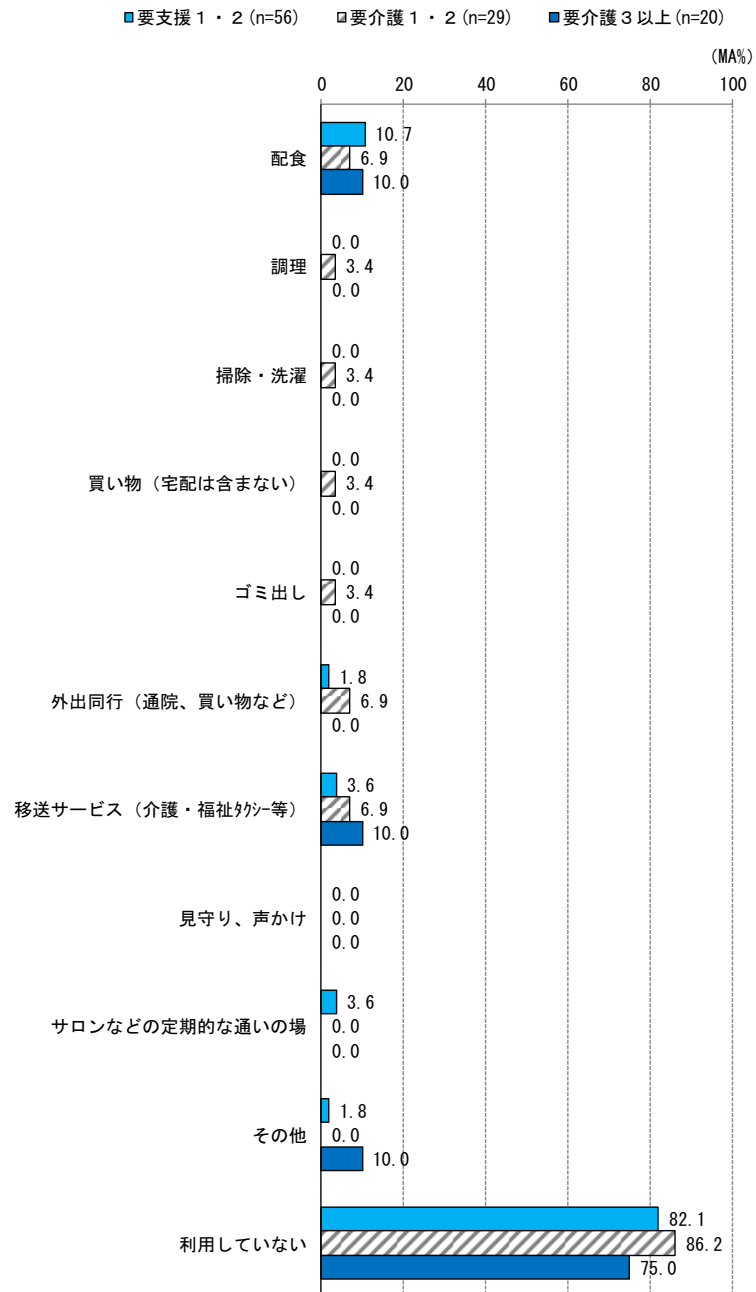
要介護度が高くなるにつれて、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」が多くなる傾向がみられます。



●夫婦のみ世帯

【全体】

要介護度が高くなるにつれて、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の利用が多くなる傾向がみられます。

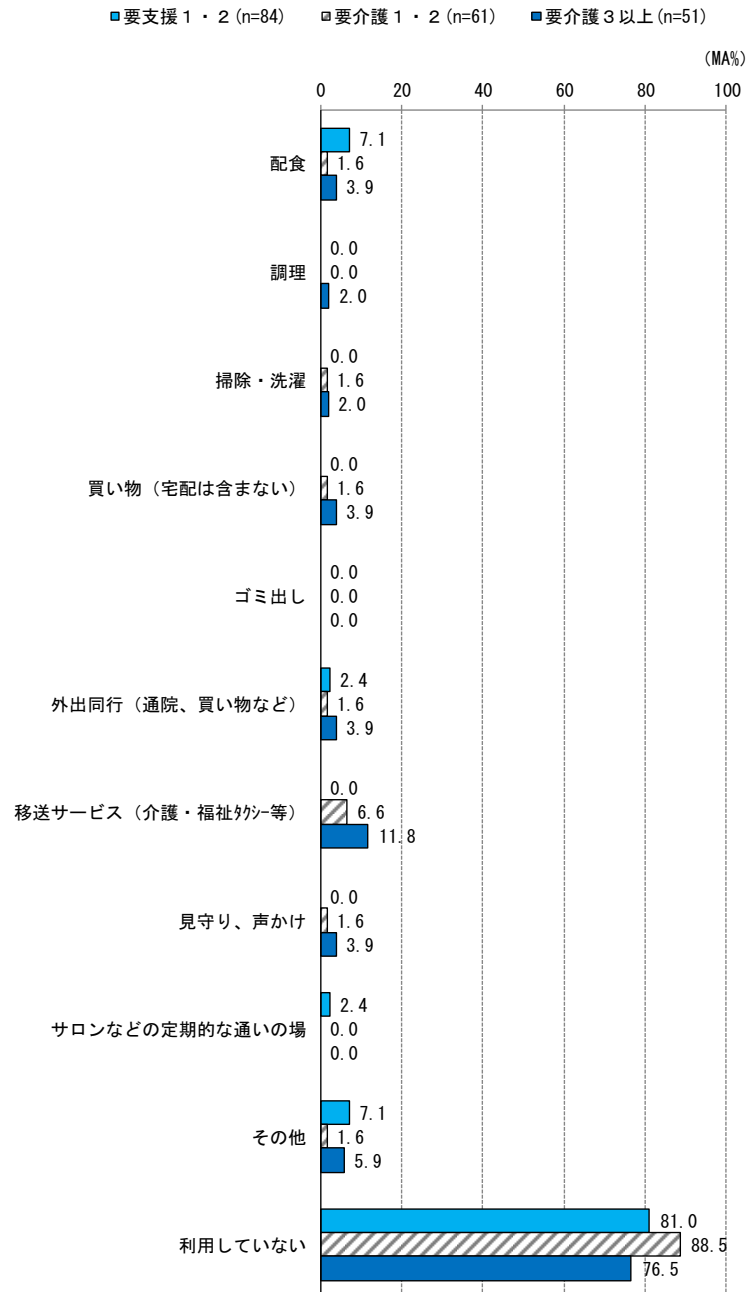




●その他世帯

【全体】

要介護度が高くなるにつれて、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の利用が多くなる傾向がみられます。



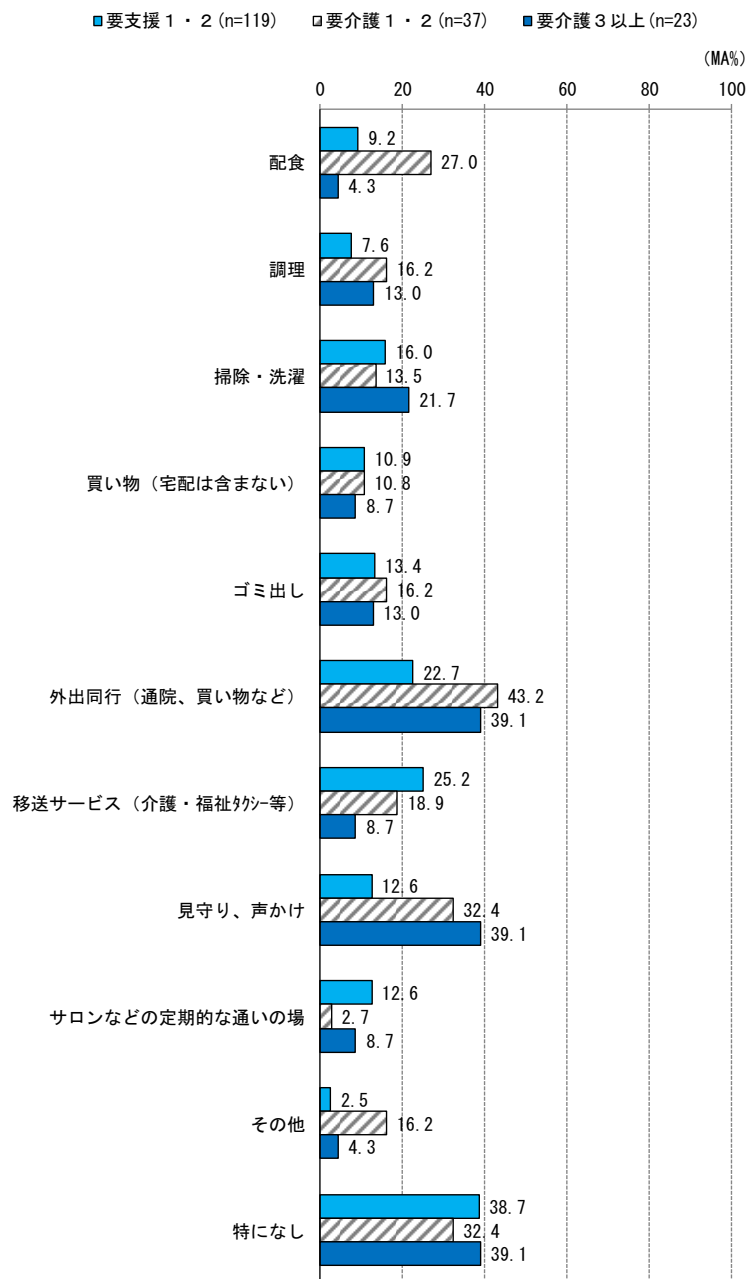
## ② 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

●単身世帯

### 【全体】

いずれの要介護度でも、「外出同行（通院、買い物など）」が多くなっています。

要介護度が高くなるにつれて、「見守り、声かけ」が必要な人が多くなる傾向がみられます。

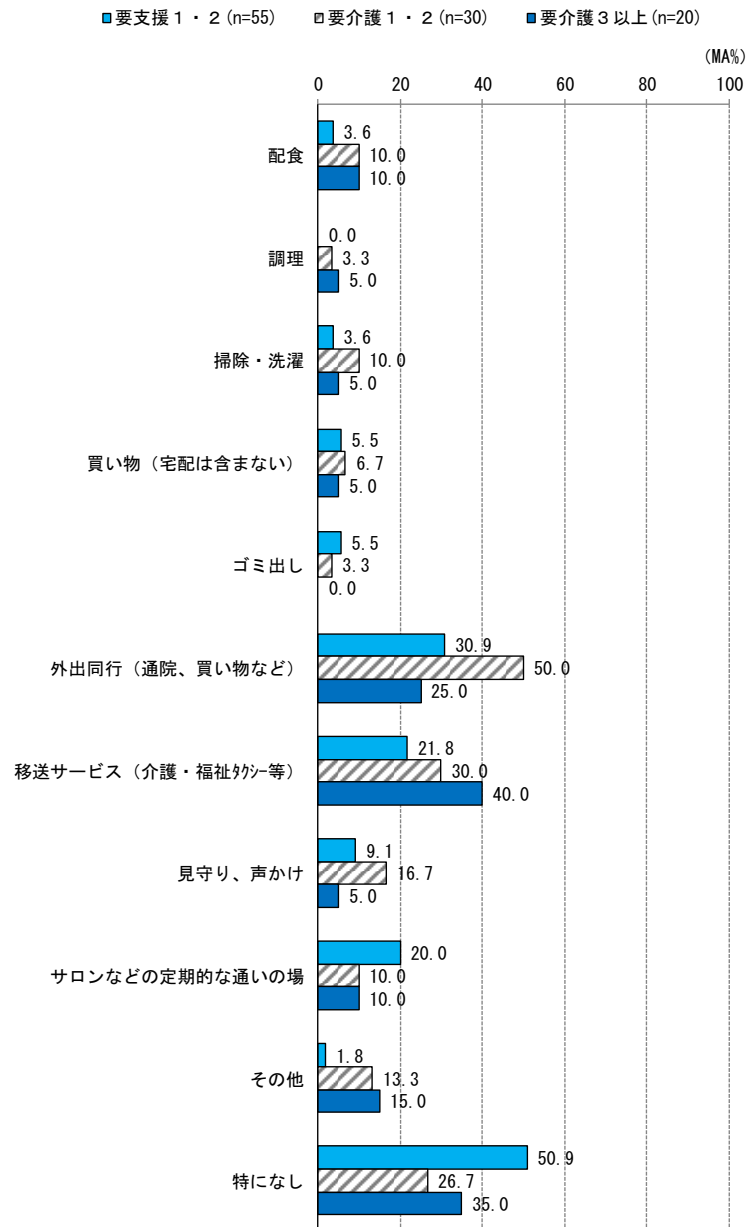


●夫婦のみ世帯

【全体】

単身世帯と比較すると、「特になし」が多くなっています。

要介護度が高くなるにつれて、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」を必要とする人が多くなる傾向がみられます。

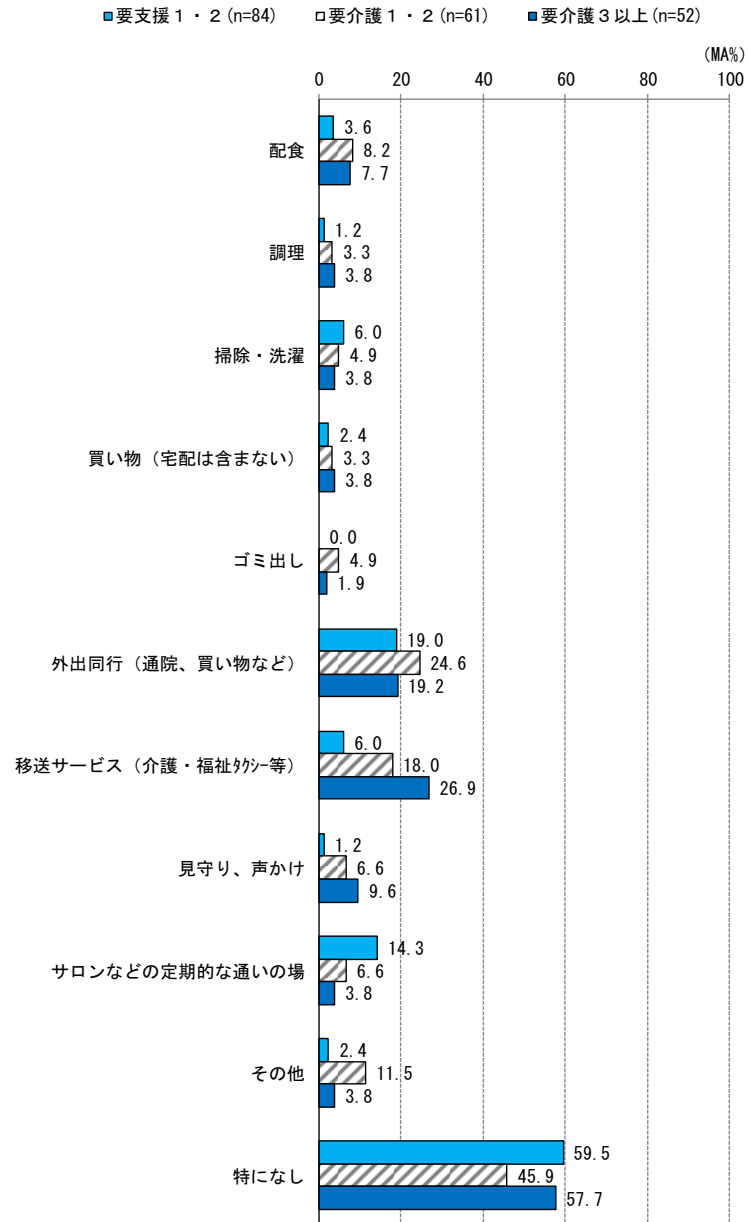


●その他世帯

【全体】

他の世帯類型と比較すると、「特になし」が多くなっています。

いずれの要介護度でも、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が多くなっています。



(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

① 要介護度と世帯類型

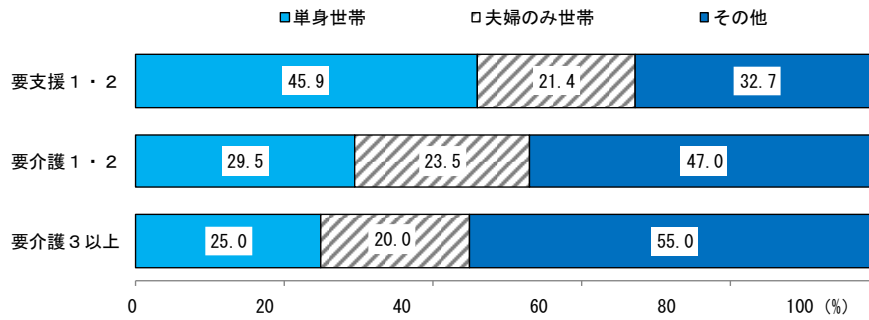
● 要介護度別・世帯類型

**【全体】**

要介護度が高くなるにつれて、同居世帯が多くなる傾向がみられます。

**【要介護3以上】**

単身世帯が25.0%となっています。



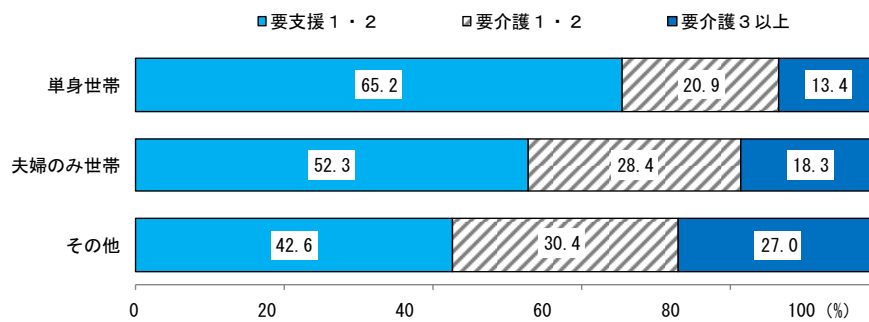
● 世帯類型別・要介護度

**【全体】**

同居人数が多くなるにつれて、重度な要介護者が多くなる傾向がみられます。

**【単身世帯】**

要介護3以上が13.4%となっています。

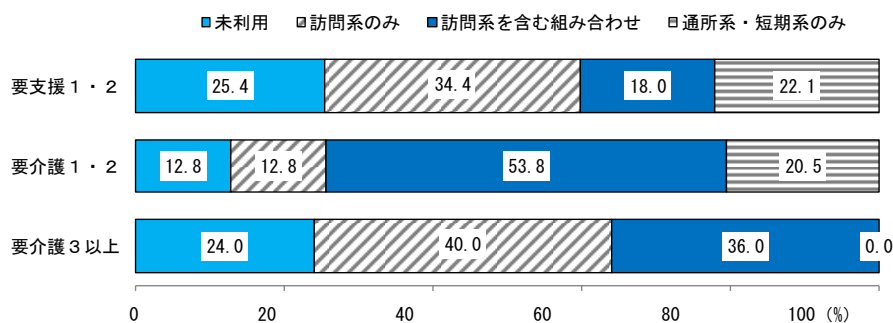


## ② サービス利用の組み合わせ

### ● 単身世帯

#### 【全体】

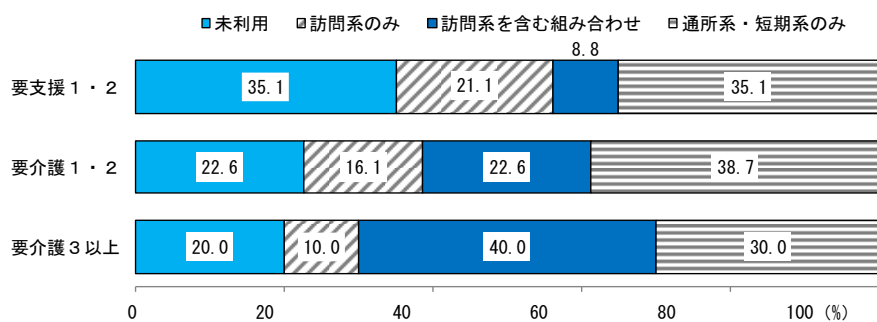
要介護度が高くなるにつれて、訪問系サービスの利用が多くなる傾向がみられます。他の世帯類型と比較すると、訪問系サービスの利用が多くなっています。



### ● 夫婦のみ世帯

#### 【全体】

要介護度が高くなるにつれて、訪問系サービスの利用が多くなる傾向がみられます。単身世帯と比較すると、「未利用」、「通所系・短期系のみ」が多くなっています。



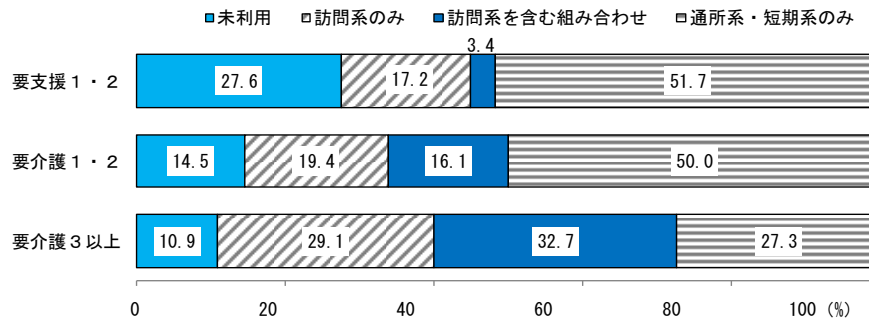
●その他世帯

【全体】

要介護度が高くなるにつれて、訪問系サービスの利用が多くなる傾向がみられます。

【要支援1・2、要介護1・2】

他の世帯類型と比較すると、「通所系・短期系のみ」が多くなっています。



③ 施設等への入所・入居の検討状況

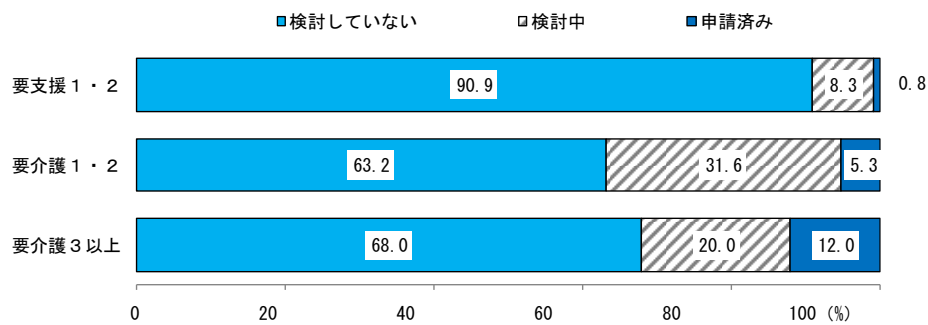
●単身世帯

【全体】

他の世帯類型と比較すると、「検討中」、「申請済み」が多くなっています。

【要介護3以上】

「検討していない」が68.0%となっています。



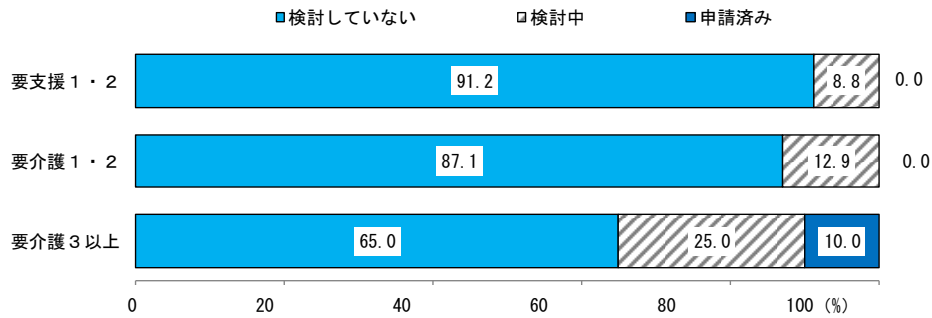
●夫婦のみ世帯

【要支援 1・2、要介護 1・2】

「申請済み」が 0.0%となっています。

【要介護 3 以上】

単身世帯と比較すると、「検討中」が多くなっています。



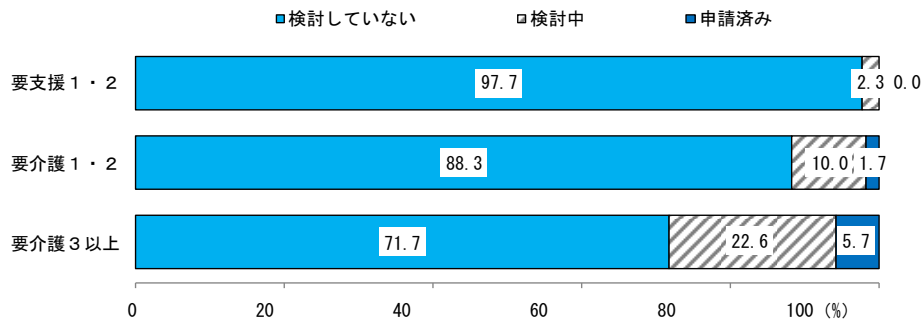
●その他世帯

【要支援 1・2、要介護 1・2】

「申請済み」が 0.0%となっています。

【要介護 3 以上】

他の世帯類型と比較すると、「検討していない」が多くなっています。





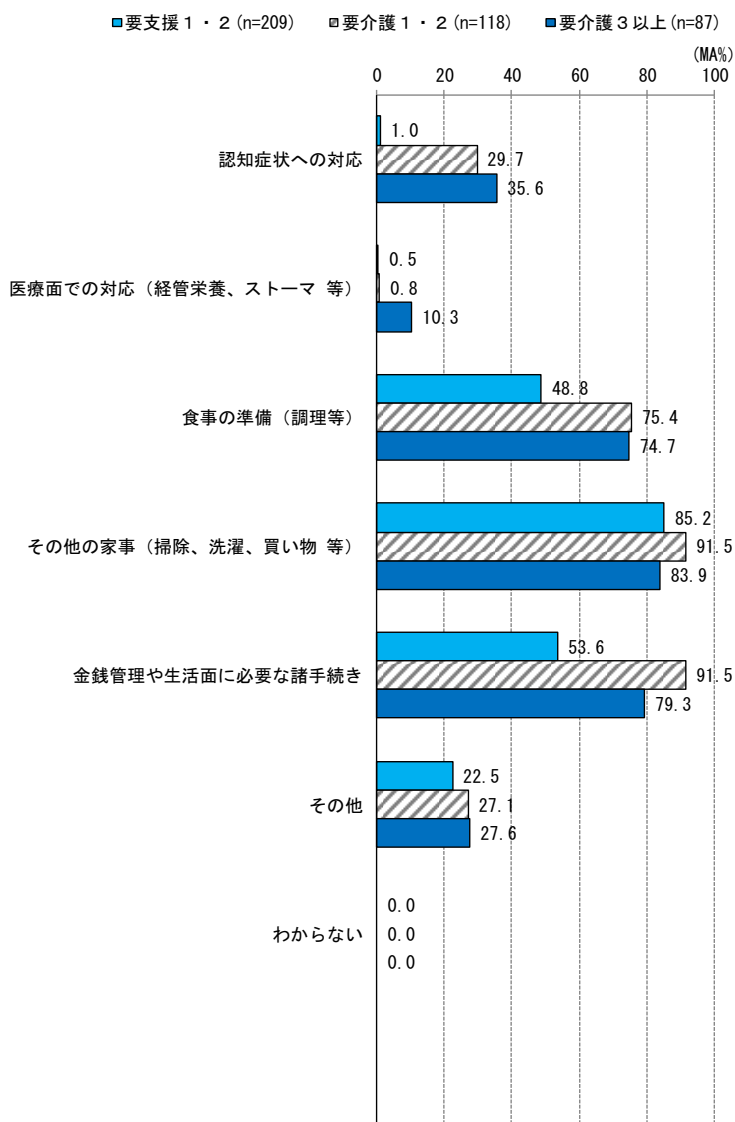
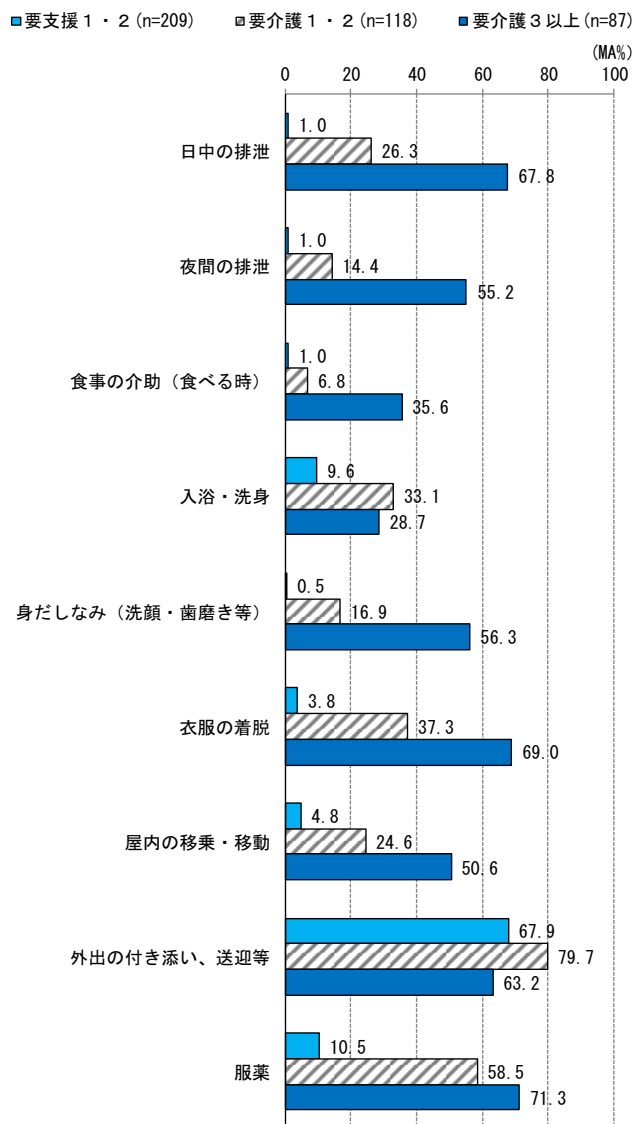
(5) 医療ニーズのある在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

① 主な介護者が行っている介護（医療面での対応）

● 要介護度

【全体】

要介護度が高くなるにつれて、「服薬」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」を行って  
いる介護者が多くなる傾向がみられます。

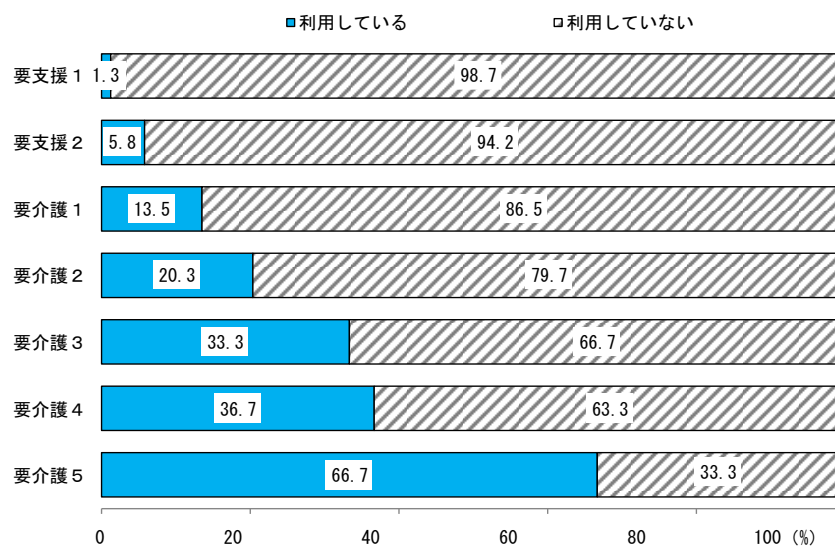


## ② 訪問診療の利用有無

### ●要介護度

#### 【全体】

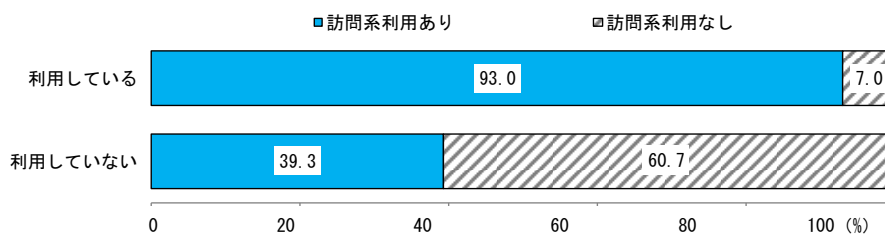
要介護度が高くなるにつれて、「利用している」が多くなる傾向がみられます。



### ●訪問系サービスの利用有無（要介護 3 以上）

#### 【（訪問診療を）利用している】

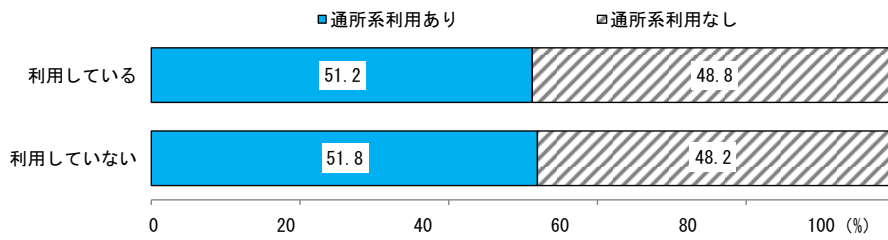
「訪問系利用あり」が 93.0%となっています。



●通所系サービスの利用有無（要介護3以上）

【（訪問診療を）利用している】

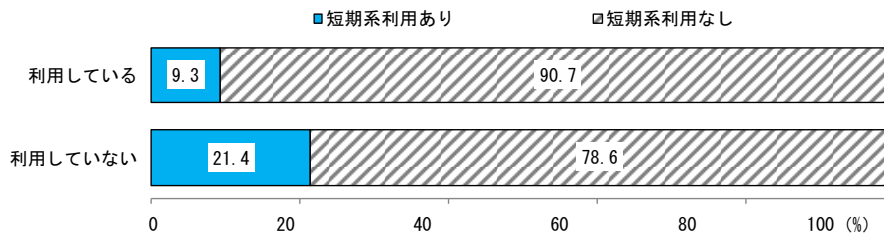
「通所系利用あり」が51.2%となっています。



●短期系サービスの利用有無（要介護3以上）

【（訪問診療を）利用している】

「短期系利用あり」が9.3%となっています。



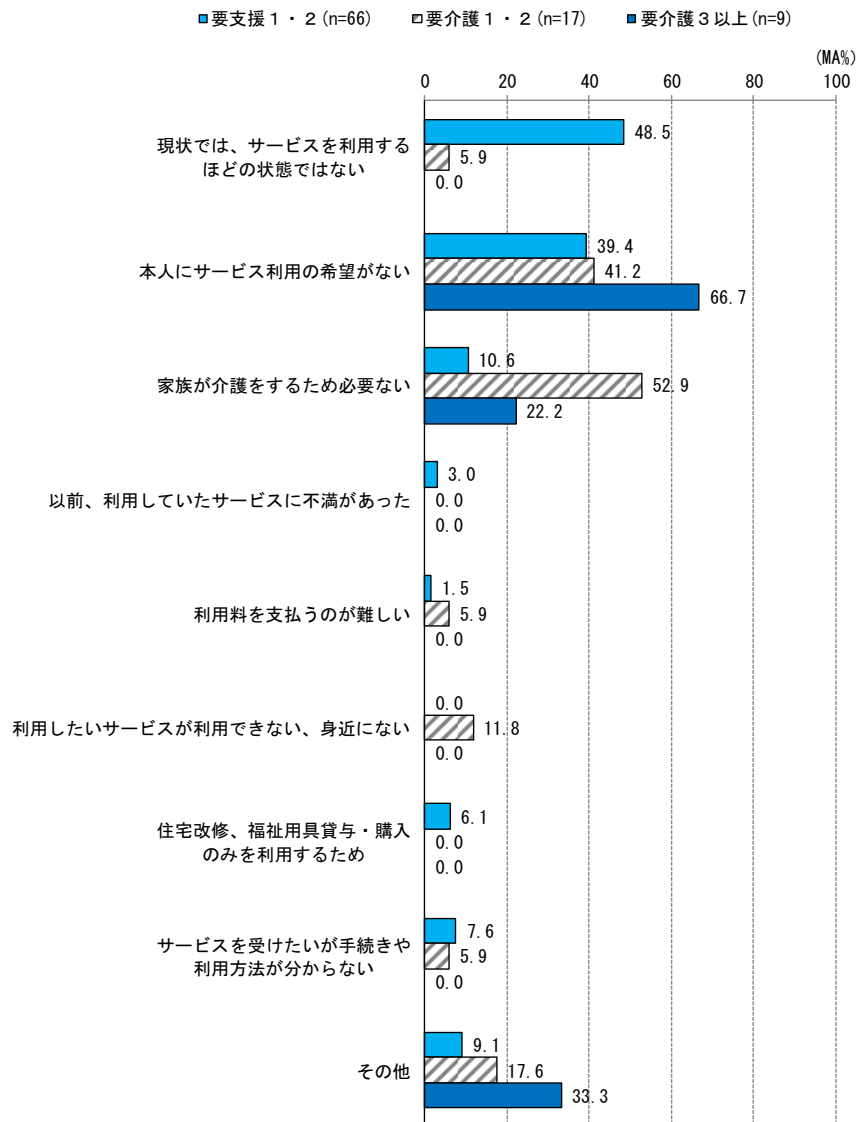
(6) 家族介護に対する支援・サービスの提供体制の検討

① 介護サービス未利用理由

●要介護度

【要介護3以上】

「本人にサービス利用の希望がない」が多くなっています。



## ② 主な介護者の年齢

### ● 調査対象者本人の年齢

#### 【65歳未満、65～69歳、70歳代】

要介護者と同世代が多くなっています。

#### 【80歳代、90歳以上】

要介護者の子どもにあたる世代が多くなっています。

